無印良品

普通紙対応FAX機能付コードレス留守番電話機

取扱説明書

形名UX-F2MR
（ユーエックス　エフ　エムアール）

お買いあげいただき、まことにありがとうございました。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
ご使用の前に「安全に正しくお使いいただくために」を必ずお読みください。
この取扱説明書は保証書とともに、いつでも見ることができる所に必ず保管してください。

技術基準適合品

もくじ

ページ
2 もくじ
4 安全に正しくお使いいただくために
9 取扱説明書の使いかた
10 特長

準備

ページ
12 商品の構成
13 ご使用の前に知っておいていただきたいこと
16 各部のなまえとはたらき
20 親機を接続する
22 記録紙をセットする
25 充電器を接続する
26 子機を充電する
27 コードレスハンドコピーを充電する
28 呼出音の大きさや受話音量、スピーカー音量を変える
30 呼出音の種類を変える
32 あなたの電話番号や名前を登録する
33 日付と時刻を合わせる

基本編

電話

ページ
34 電話をかける
35 電話を受ける
36 子機だけに電話がかかってくるようにする（優先呼出）
37 通話中にお待たせする（保留）
38 受話器を置いたまま電話をかける（スピーカーホン）
39 受話器を置いたまま電話を受ける（スピーカーホン）
40 親機の電話帳に登録する
44 親機の電話帳ダイヤルで電話をかける
46 子機の電話帳に登録する
48 子機の電話帳ダイヤルで電話をかける
50 電話帳に登録した内容を転送する
52 電話をかけ直す（再ダイヤル）

ホームテレホン

ページ
54 親機と子機の間で話す（内線通話）
56 かかってきた電話をとりつぐ（とりつぎ転送）
58 かかってきた電話を自分ひとりでとりつぐ（ひとり転送）
60 子機から他の子機へ転送する（ひと声転送）（子機増設時）
61 子機から子機へメッセージを伝える（子機間ひと声通知）（子機増設時）

コピー

ページ
62 セットできる原稿について
63 原稿をセットする
64 画質・濃度を選ぶ
65 コピーする
66 コピーの種類を選んでコピーする
67 コードレスハンドコピーをお使いになる前に
73 コードレスハンドコピーを使ってコピーする

ファクス

ページ
75 ファクスを送る
78 海外へファクスを送る
79 ファクスの受けかたを選ぶ
80 ファクスを受ける
84 電話帳ダイヤルや再ダイヤルでファクスを送る

留守番

ページ
87 留守番電話として使う（留守モード）
88 外出前に留守に設定する
89 帰宅したあと録音を聞く
90 録音内容を再生する
92 録音内容を消去する
93 自分で応答メッセージを録音する

応用編

便利な使いかた

ページ
94 通話内容や伝言メモを録音する
95 モーニングコールを使う
96 自分で呼出音を作る（オリジナルメロディー）
99 ファクスを送ったあとお話しする（FAX↔電話リレートーク）
101 ファクスを受けたあとお話しする（FAX↔電話リレートーク）
102 コードレスハンドコピーを使ってファクスを送る
104 スタンプを押してファクスを送る
108 呼出音を鳴らさずにファクスを受ける（ノンコール着信）
110 こちら側の操作でファクスを受ける（ポーリング受信）
111 プッシュホンのサービスを利用する
112 外出先から用件や伝言を聞く（リモート操作）
114 暗証番号を登録する
115 留守録が入れば外出先の電話やポケットベルを呼び出す（転送）
119 初期設定（工場出荷時）一覧表
120 より便利に使うために（ユーザーセレクト）
126 留守録の使い方を選ぶ（留守録モード）
128 登録内容やメモリー、インクリボンの使用量を確認する（設定確認モード）

応用編

システムアップ

ページ
129 増設電話機を使う
131 子機を増設して使う（増設子機）

サービス編

スーパーACR

ページ
132 スーパーACRについて
133 スーパーACRを利用する
134 引っ越し等で電話番号が変わったとき・スーパーACR機能を一時的に止めるとき
135 日本テレコム以外の新電電も利用する
135 地域系新電電の市内回線も利用する
136 通話料金を確認する（スーパーACR加入時のみ）
137 インターネットダイヤルを利用する
139 「呼出音メロディーサービス」で呼出音を取り込む（呼出音リフレッシュ）
140 こんなときは（スーパーACR）

キャッチホン

ページ
141 キャッチホンサービスを利用する

ナンバー・ディスプレイ

ページ
142 ナンバー・ディスプレイを利用する
146 着信記録を表示する／プリントする
148 着信記録を使って電話をかける
149 着信記録を使ってファクスを送る
151 着信記録から親機の電話帳に登録する
152 着信記録から子機の電話帳に登録する
153 電話帳に登録した相手の方からの呼出音を変える（着信鳴り分け）
156 非通知の相手の方におことわりのメッセージを流す（非通知応答）
157 特定の番号からの電話の受けかたを設定する（特定番号着信）
159 キャッチホン・ディスプレイを利用する

モデムダイヤルイン

ページ
162 モデムダイヤルインサービスについて
163 モデムダイヤルインサービスを利用する

こんなときは

ページ
165 お手入れのしかた
166 記録紙に白や黒い線が入るときは
167 別売品／消耗品
168 インクリボンの交換が必要になったときは
170 充電池の交換が必要になったときは
172 原稿や記録紙がつまったときは
174 こまったときは

ページ
178 故障かな？と思ったときは（修理依頼される前に）
179 停電になったときは
180 ファクシミリ通信網（Ｆネット）について
181 仕様
182 さくいん
184 保証とアフターサービス（よくお読みください）
185 修理ご相談窓口一覧表

（オリジナルスタンプ登録用紙）
（リモート操作手順カード）

安全に正しくお使いいただくために

この取扱説明書および商品には、安全にお使いいただくためのいろいろな絵表示をしています。その表示を無視して誤った取り扱いをすることによって生じる内容を、次のように区分しています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

絵表示について

⚠危険 人が死亡または重傷を負う恐れが高い内容を示しています。

⚠警告 人が死亡または重傷を負う恐れがある内容を示しています。

⚠注意 人がけがをしたり財産に損害を受ける恐れがある内容を示しています。

絵表示の意味

上の記号は、気をつける必要があることを表しています。

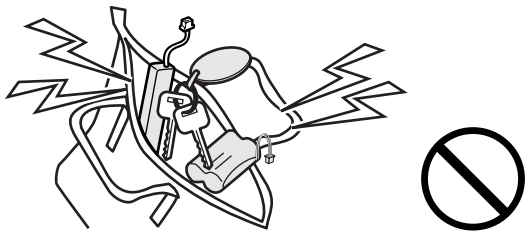
上の記号は、してはいけないことを表しています。

上の記号は、しなければならないことを表しています。

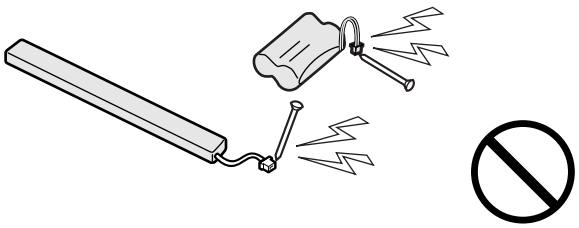
⚠危険

充電池の取り扱いについては、必ず次のことを守ってください。正しく使用しないと、充電池の液漏れ・発熱・破裂により、やけどやけがの原因となります。

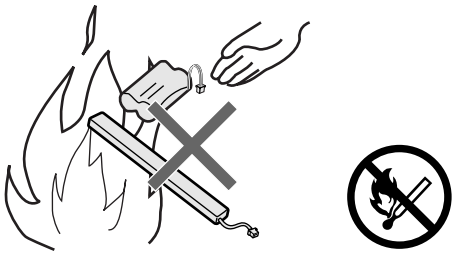
■充電池をネックレス・ヘアピンなどと一緒に持ち運んだり、保管しないでください。



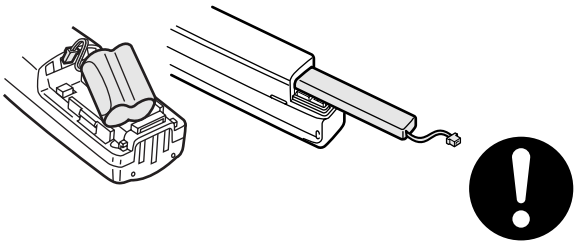
■充電池の㊉㊀端子を金属などで接触させないでください。



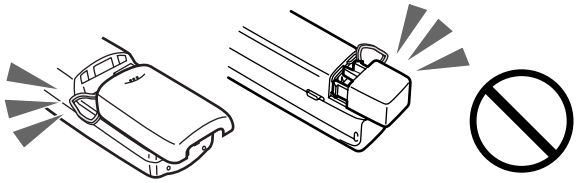
■充電池を水や火の中に捨てたり、加熱しないでください。



■充電池は、専用のものを使用してください。



■充電池ふたを取り付けるときは、充電池のコードをはさまないようにしてください。

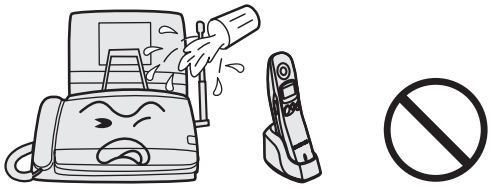


■充電池の液が目に入ったときは、こすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、直ちに医師の治療を受けてください。

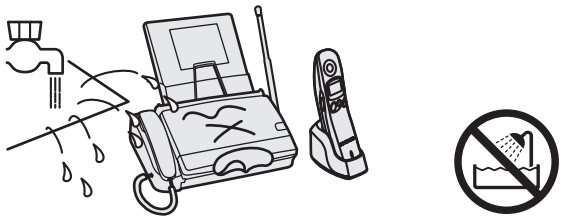
失明のおそれがあります。

⚠警告

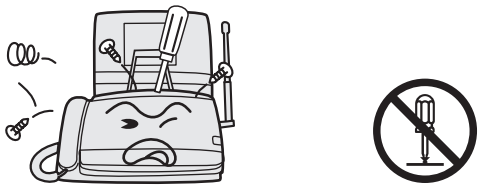
■水や薬品などの液体をこぼさないでください。
火災・感電の原因になります。液体をこぼした場合は、差し込みプラグまたはACアダプターを抜いて販売店へご相談ください。



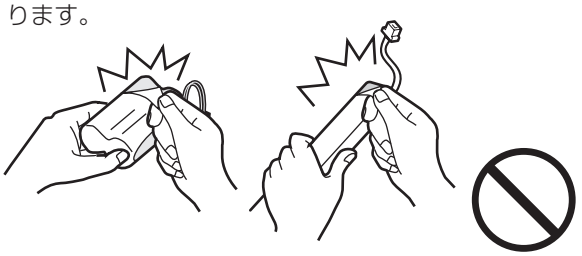
■浴そうなど、湿気の多い場所では絶対に使用しないでください。
絶縁が悪くなり火災・感電の原因になります。



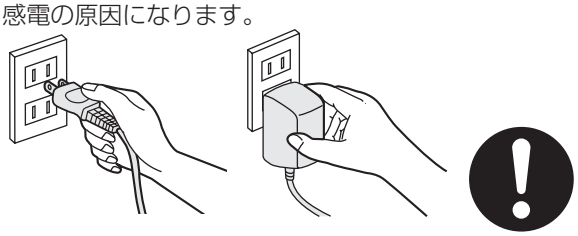
■ご自身での分解や修理・改造は絶対にしないでください。
火災・感電の原因になります。修理は販売店へご相談ください。



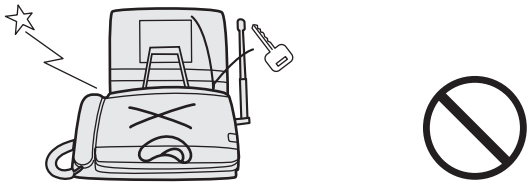
■充電池のビニールカバーを、はがしたりしないでください。
充電池の液が漏れたり、発熱・破裂させる原因になります。



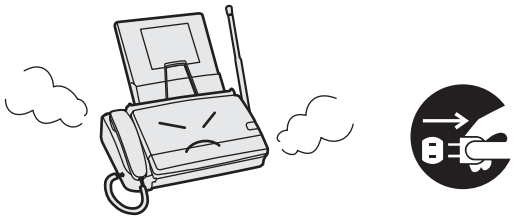
■差し込みプラグやACアダプターを抜き差しするときは本体（金属でない部分）を持ってください。
感電の原因になります。



■内部に金属物を入れないでください。
火災・感電の原因になります。金属物が入った場合は、差し込みプラグまたはACアダプターを抜いて販売店へご相談ください。

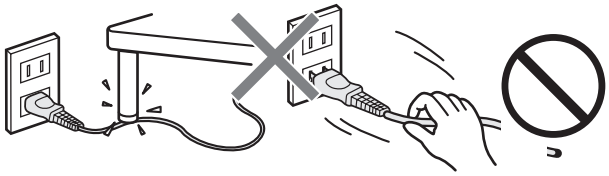


■煙・異臭・異音が出たり、落下・破損した場合は使用を中止してください。
火災・感電の原因になります。差し込みプラグまたはACアダプターを抜いて販売店へご相談ください。

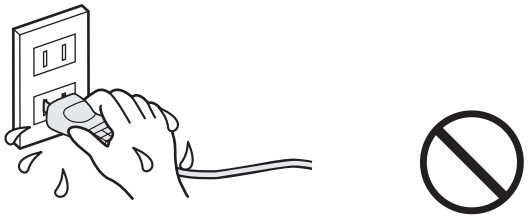


■この製品を持ち運ぶときは、落としたり、衝撃を与えたりしないようにしてください。
けがの原因になります。
万一、この製品を落としたり、キャビネットを破損した場合は販売店へご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。

■電源コード・差し込みプラグを破損するようなことはしないでください。
傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に引っ張ったり、無理に曲げたりねじったり、重い物を載せたり、束ねたりしないでください。
傷んだまま使用すると、感電や火災の原因になります。
コードやプラグの修理は、販売店へご相談ください。

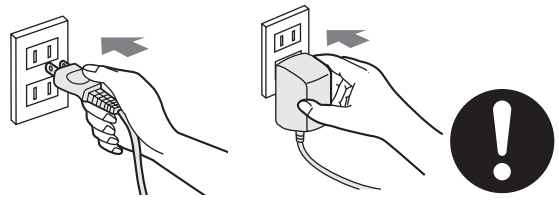


■ぬれた手で差し込みプラグやACアダプターの抜き差しはしないでください。
感電の原因になります。



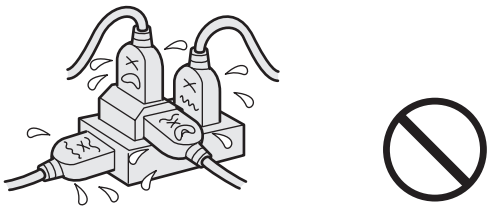
⚠警告

■差し込みプラグやACアダプターは根元まで確実に差し込んでください。
感電や発熱による火災の原因になります。傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

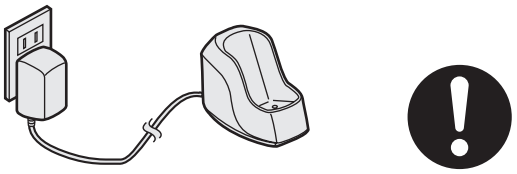


■この製品は国内電源仕様です。家庭用電源電圧（交流100V）に必ず接続してください。
海外や交流100V以外の電源電圧で使用すると、火災や感電の原因になります。

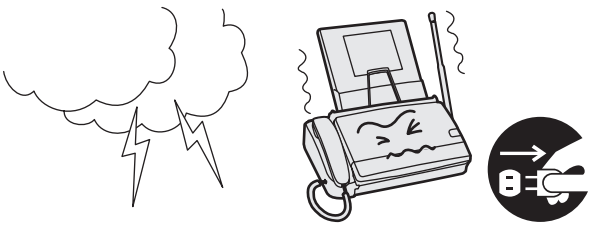
■コンセントや配線器具の定格を超える使いかたはしないでください。
たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因になります。



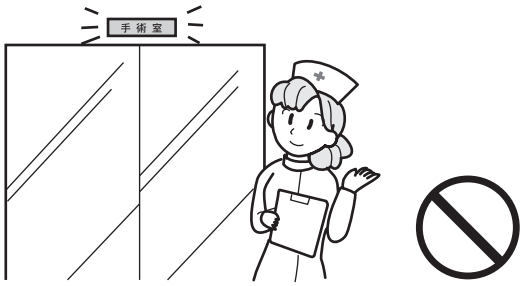
■子機を充電するときは、専用の充電器、ACアダプターを使用してください。
指定以外のものを、使用すると充電池の液漏れ・発熱・破裂により、やけどやけがの原因になります。



■雷が鳴り始めたら、安全のため早めに差し込みプラグ、ACアダプターをコンセントから抜いてください。
火災・感電・故障の原因になります。

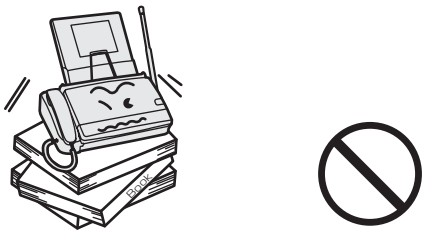


■医療用電気機器の近くでは使用しないでください。
本機からの電波が医療用電気機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。

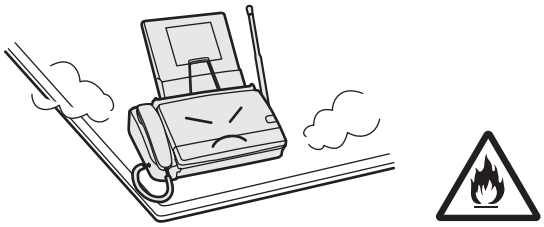


⚠注意

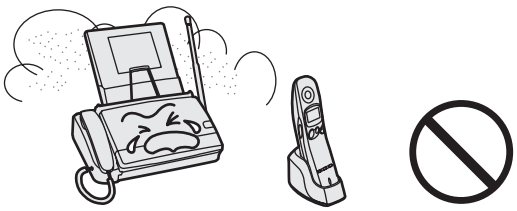
■水平でない場所や振動の激しい場所には置かないでください。
落下により破損・けがの原因になることがあります。



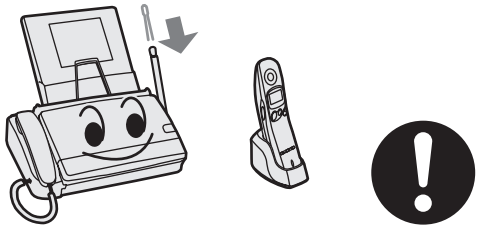
■風通しの悪いところや、じゅうたんなどの上に置かないでください。
通風口をふさぎ本体の放熱が悪くなり、じゅうたんなどの変色、火災の原因になることがあります。



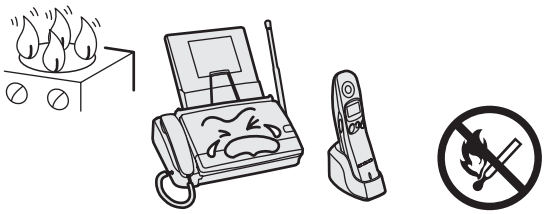
■湿気や湯気・油煙・ほこりの多い場所では使用しないでください。
火災・感電・故障の原因になることがあります。



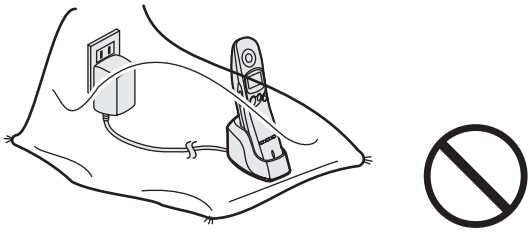
■この製品を移動するときは、アンテナをたたんで、差し込みプラグ・電話機コード・ACアダプターを抜いてください。
事故の原因になることがあります。



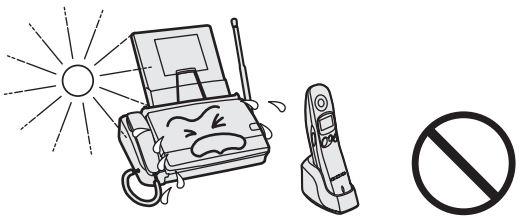
■火気や熱器具に近づけないでください。
変形や故障、火災の原因になることがあります。



■充電器やACアダプターを布や布団でおおったり、つつんだりしないでください。
熱がこもり、火災の原因になることがあります。



■暑い場所や直射日光のあたるところ、冷暖房機の近くには置かないでください。
35℃以上5℃以下では、誤動作・変形・故障の原因になります。



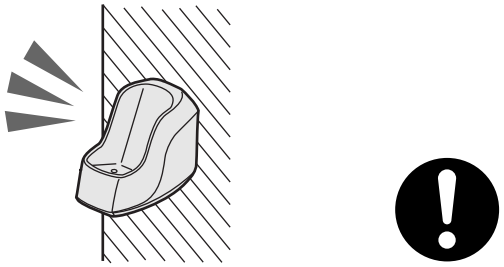
■万一漏電した場合の感電事故防止のため、アース線を取り付けてください。

○アース線を取り付けられるところ
電源コンセントのアース端子
銅片などを65cm以上、地中に埋めたもの
設置工事（D種）が行われている接地端子

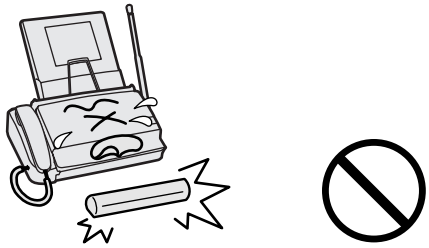
○アース線を取り付けてはいけないところ
ガス管
電話専用アース
避雷針
水道管や蛇口

⚠注意

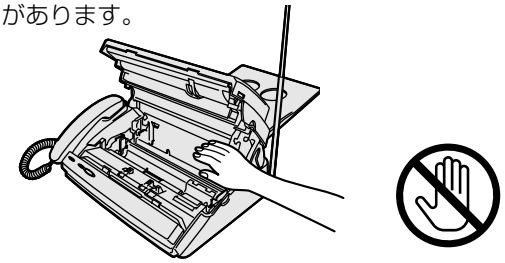
■子機を壁にかけて使用するときは、充電器を確実に取り付けてください。
落下により、けがの原因になることがあります。



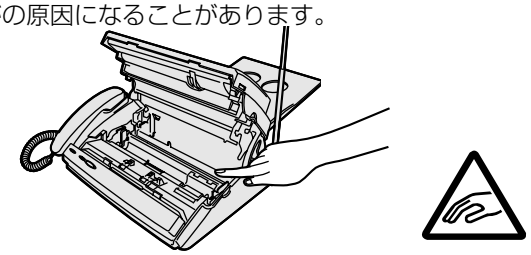
■ハンドコピーは落としたり、ぶつけたりしないでください。
落下によりガラスが割れてけがの原因になることがあります。



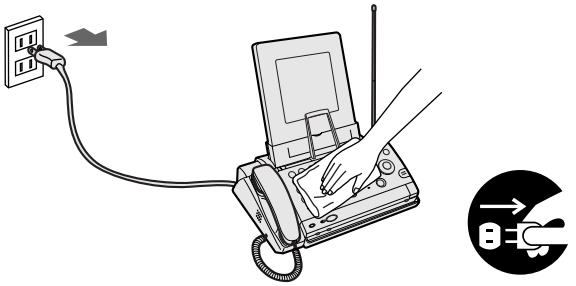
■手で直接記録ヘッドに触れないでください。
発熱している場合があり、やけどやけがの原因になることがあります。



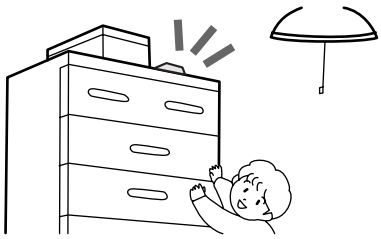
■カバーを閉めるときに、指などをはさまないように注意してください。
けがの原因になることがあります。



■点検・清掃（お手入れ）は、必ず差し込みプラグ、ACアダプターをコンセントから抜いて（記録ヘッドなど熱くなるものは冷えてから）行ってください。
感電やけが（やけど）の原因になることがあります。



■充電池は、幼児の手の届かない所に保管してください。



取扱説明書の使いかた

■インデックス
操作したい項目を簡単に検索できます。

■タイトル
これから行う操作や項目を表しています。

呼出音の種類を変える

電話がかかってきたときの呼出音の種類を変えることができます。
親機の呼出音は、あらかじめ3種類内蔵されています。
日本テレコム（株）提供の「呼出音メロディーサービス」を利用すると、別に3種類まで取り込むことができます。（139ページ）
さらに、自分で呼出音を1種類作ることができます（96～98ページ）ので合わせて最大7種類の中から1つ選ぶことができます。

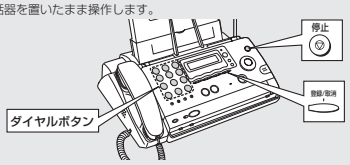
■ 途中でやめるときは
停止ボタンを押します。

■ 1つ前に戻るときは
取消ボタンを押します

■ 着信時、設定した呼出音とちがう呼出音が鳴るときは
ナンバー・ディスプレイを契約し、鳴り分け機能が働いている可能性があります。（初期設定では、親機は鳴り分けが「ショウスル」に設定され、子機は「解除」に設定されています。）
鳴り分けをする必要がなければ親機の設定を「シヨウシナイ」に変更します。（153～155ページ）

親機の呼出音の種類を変える

受話器を置いたまま操作します。



1 登録/取消 **を押す**

2 4 GHI 1 ア 0 記号 **を押す**
オヤコヨビ゛ダ゛シオン

3 1 ア ～ 7 PQRS **で選ぶ**
- 電話ベル音 ▶ 1 ア
- 鳥の声 ▶ 2 ABC カ
- 電子音 ▶ 3 サ DEF
- メロディー1 ▶ 4 タ GHI **を押す**
- メロディー2 ▶ 5 ナ JKL
- メロディー3 ▶ 6 ハ MNO
- オリジナル（自作）メロディー ▶ 7 マ PQRS

●はじめは（工場出荷時は）電話ベル音に設定されています。
●スーパーACRに加入し、呼出音メロディーサービスのメロディーを取り込むと 4 ～ 6 ボタンを押して選ぶことができます。
●オリジナル（自作）メロディーは「オリジナル（自作）メロディーを作る」（96～98ページ）で作ると 7 ボタンを押して選ぶことができます。

4 停止 **を押す**

こんなことができます
この取扱説明書では手順2のように、番号を入力して登録や設定する項目を選んでいますが、ジョグダイヤルで項目を選んでスタートボタンを押して決定することもできます。
ジョグダイヤルで選ぶ→スタートボタンを押すをくり返します。
この操作で登録や設定する項目を選ぶときは、ディスプレイ表示にしたがって操作してください。

お知らせ
- 内線から呼出があったときは、呼出音の種類は変わりません。
- 親機の呼出音を電話ベル音以外に設定していても、プリント中などで、親機が動作しているときや、ノンコール着信に設定しているときは、「電話ベル音」になります。
- 呼出音メロディーサービスで取り込んだメロディーやオリジナル（自作）メロディーを子機の呼出音で使うことはできません。

■機能説明
このファクシミリでできることを、イラストなどで、説明しています。

■操作手順
基本的な操作のしかたを説明しています。

■補足説明
ディスプレイ表示やさらに詳しい操作のしかたを説明しています。

■項目
操作を途中で止めるときやアドバイスについて説明しています。

⚠ 危険 …… 人が死亡または重傷を負う恐れが高い内容を示しています。

⚠ 警告 …… 人が死亡または重傷を負う恐れがある内容を示しています。

⚠ 注意 …… 人がけがをしたり財産に損害を受ける恐れがある内容を示しています。

お知らせ… 知っておくと便利で役に立つことや、制約事項などについて説明しています。

こんなことができます
このページで説明している方法と異なる使い方や、より便利な使い方について説明しています。

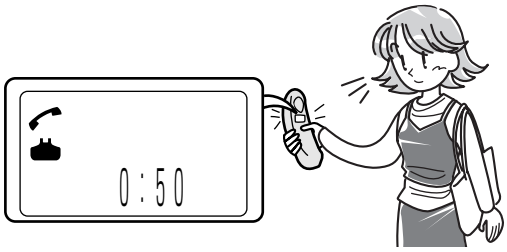
特長

普通紙ファクシミリ／充実のFAX機能

熱転写記録方式により、普通紙でコピーやファクス受信ができます。
また、感熱カット紙を使い分けることもできます。記録紙は普通紙または感熱カット紙を50枚までセット可能。連続自動給紙は5枚まで可能。
中間調64階調採用により、写真の原稿でも鮮明にファクス送信や普通紙コピーができます。

ホームテレホン対応、液晶ディスプレイ付コードレス子機

液晶ディスプレイで電話番号や名前を表示。子機の操作でファクス送受信はもちろん、録音を再生することもできます。また、必要に応じて子機は合計 4 台まで増設できます。



コードレススティックハンドコピー（67～74ページ）

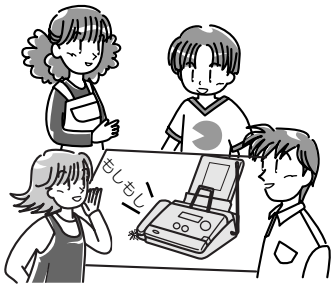
ノートなどのとじ込み原稿も切り取らずにコピーできます。コードレスなので本体から離れた場所でもハンドコピーの読み取りができます。

ジョグダイヤル（親機）シャトルキー（子機）で選べる電話帳（40~51、84、86ページ）

親機ではジョグダイヤルで相手の方を選んで、子機ではシャトルキーで相手の方を選んで電話やファクス送信ができます。（親機100人分／子機50人分）
しかも、どちらかに登録した電話帳データを親機↔子機間で転送できるため、同じデータを2度登録する手間が省けます。

デジタルスピーカーホン（38~39ページ）

親機の受話器を置いたままで、相手の方とお話ができます。



フラッシュメモリー採用デジタル留守録（87～93ページ）

デジタルだから巻き戻し不要で「即頭出し再生」「早聞き再生」「遅聞き再生（親機のみ）」ができます。
フラッシュメモリー採用のため、停電になっても録音内容は消えません。

着メロ作曲機能（96～98ページ）

親機の呼出音のメロディーを自分で作ることもできます。

スタンプ機能（104～107ページ）

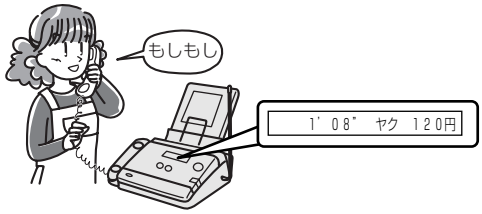
オリジナルスタンプを原稿につけて送信やコピーができます。

FAX↔電話リレートーク（99～101ページ）

ファクスを送受信したあと、ダイヤルしなおさなくても、そのまま相手の方とお話しができます。

料金表示機能付スーパーACR インターネットダイヤル／呼出音リフレッシュサービス（132～140ページ）

相手の番号をダイヤルするだけで、おトクな市外回線を自動的に選びます。しかも料金表示も可能です。
スーパーACRは申込手続きが必要です。（無料）
また、インターネットを利用した海外通信（インターネットダイヤル）や、最新のヒット曲などを親機の呼出音として使うこともできます。（呼出音リフレッシュサービス）



ナンバー・ディスプレイ／キャッチホン・ディスプレイ対応（142～161ページ）

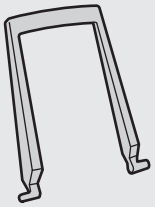
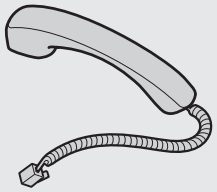
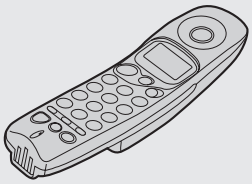
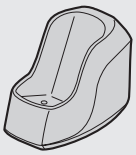
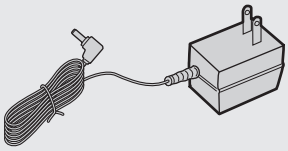
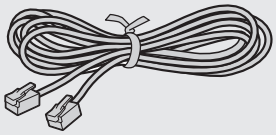
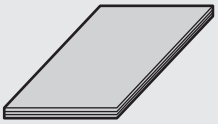
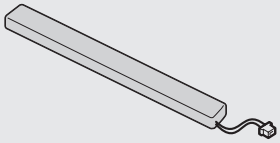
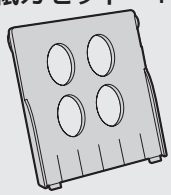
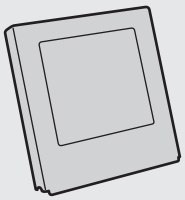
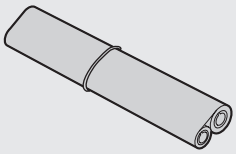
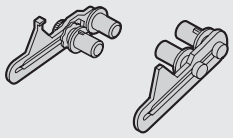
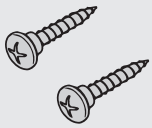
電話に出る前やキャッチホンでかかってきた相手の方の番号を確認できます。また、電話帳に登録している相手先からの電話は、名前を表示したり、呼出音を変えたりすることができます。「ナンバー・ディスプレイ」「キャッチホン・ディスプレイ」サービスはＮＴＴとの契約が必要です。（有料）

モデムダイヤルイン対応（162～164ページ）

1つの回線で電話番号とファクス番号の2つが持て、呼出音で区別することもできます。
モデムダイヤルインサービスはNTTとの契約が必要です。（有料）

商品の構成

このたびは、「普通紙対応FAX機能付コードレス留守番電話機」をお買いあげいただき、まことにありがとうございます。まず、次のものがすべてそろっているか、確認してください。もし足りない場合やちがうものが入っているときは、お買いあげの販売店にご連絡ください。

親機　1台	原稿ホッパー　1個 	受話器（受話器コード含む）　1個 	子機　1台 
充電器(子機用)　1個 	充電池ふた(子機用)　1個	充電池(子機用)　1個 (白色)	ACアダプター(子機用)　1個 
電話機コード（2m）1本 	記録紙（A4）　一式 	充電池(ハンドコピー用) 1個 	記録紙カセット　1個 
記録紙カセットカバー　1個 	インクリボン　1個 	カートリッジ　2個 	子機壁掛け用ネジ　2個 

●インクリボン1個とカートリッジ2個は、工場出荷時にあらかじめ親機にセットしてあります。
●あらかじめセットされているインクリボンはテスト用ですので、別売品のインクリボンとはプリントできる枚数が異なります。

保証書・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1部
取扱説明書・・・・・・・・・・・・・・・・・1冊
かんたん操作ガイド・・・・・・・・・・・・・1部
かんたん取り付けガイド・・・・・・・・・・・1部
スーパーACR・インターネットダイヤル申込書・・1式
インターネットダイヤルサービス料金表・・1枚
読み取り調整シート・・・・・・・・・・・・・1枚

お知らせ

- この製品は、厳重な品質管理と検査を経て出荷しておりますが、万一不具合がありましたら、お買いあげの販売店または裏表紙記載のお客様室でんわまでご連絡ください。
- お客様または第三者がこの製品の使用誤り、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- この製品は使用誤りや静電気・電気的ノイズの影響を受けたとき、また故障・修理のときは記憶内容が変化・消失する場合があります。

ご使用の前に知っておいていただきたいこと

ご使用にあたってのお願い

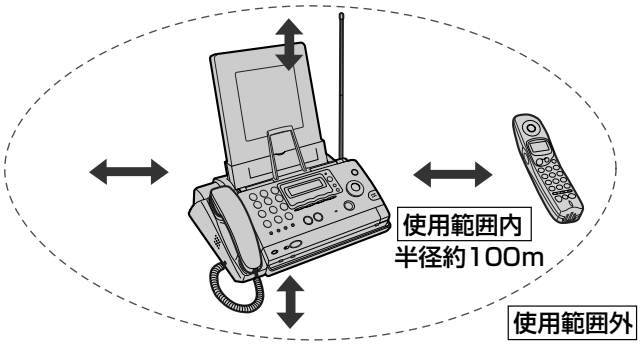
この製品のご使用にあたって、ＮＴＴのレンタル電話機が不要となる場合は、ＮＴＴへご連絡ください。ご連絡いただいた日をもって、**「機器使用料」は、不要**　となります。
詳しくは、**局番なしの１１６番（無料）**へお問い合わせください。

この製品を使用できるのは、日本国内のみです。規格などが異なるため海外では使用できません。
This facsimile is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

コードレス子機について

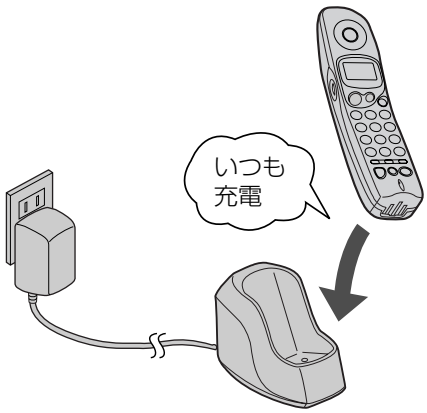
■ 使用範囲を確かめる

子機と親機間の電波の届く距離は、周囲の環境によっても異なりますが、半径約100mです。（直線見通し距離）
内線通話しながら子機を持って移動し、通話ができる範囲をお確かめください。（54～55ページ）



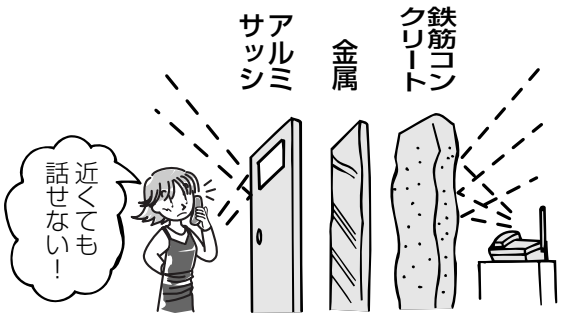
■ 子機はいつも充電器に戻しておく

子機は使わないときでも、いつも充電器に戻しておいてください。充電のしすぎによって、故障することはありません。正常に充電されるよう子機を充電器に確実に戻してください。



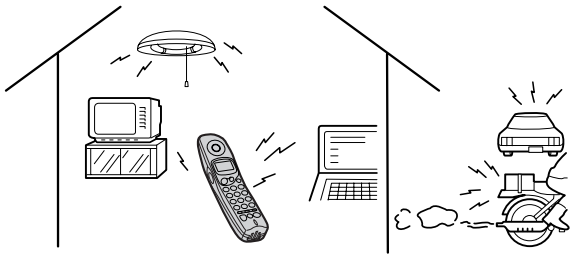
■ 親機と子機の間に障害物のある場所で使わない

マンションなど鉄筋コンクリートの建物内や構造に金属が使われている住宅や大型の金属製家具の近くなどは、電波の届く距離が短くなることがあります。



■ 雑音の入ることがあります

自動車やオートバイが近くを通ったときや、蛍光灯のスイッチを「入」「切」にしたときなど、雑音が入ることがあります。



■ “傍受”にご注意ください

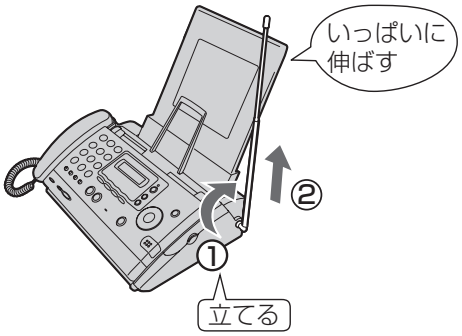
この製品は盗聴防止スクランブル機能を搭載していません。
コードレス子機を使っての通話は、電波を利用していますので第三者が故意または偶然に受信することも考えられます。
機密を要する重要な通話には、親機のご利用をおすすめします。

傍受（ぼうじゅ）とは

無線連絡の内容を第三者が別の受信機で故意または偶然に受信することです。

■ 親機のアンテナは立てる

電波の届く距離が短かったり、雑音が入ることがありますので、親機のアンテナを必ず立てて伸ばしてください。

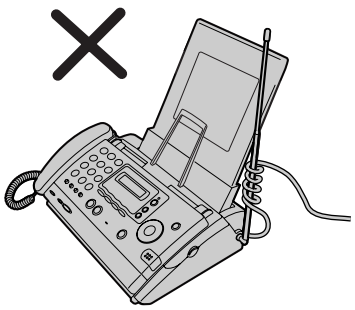


■ 子機の呼出音は、遅れて鳴ります

電話がかかってくると、はじめに親機の呼出音が鳴って、そのあと、少し遅れて子機の呼出音も鳴ります。

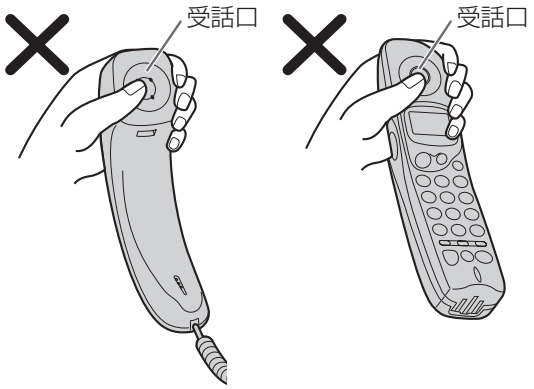
■ アンテナにコードを巻き付けない

親機の電源コードや電話機コード、充電器のACアダプタケーブルをアンテナに巻き付けないでください。
着信時に子機の呼出音が鳴らなくなったり、通話時に雑音が入ったりすることがあります。また、アンテナが破損する原因となります。



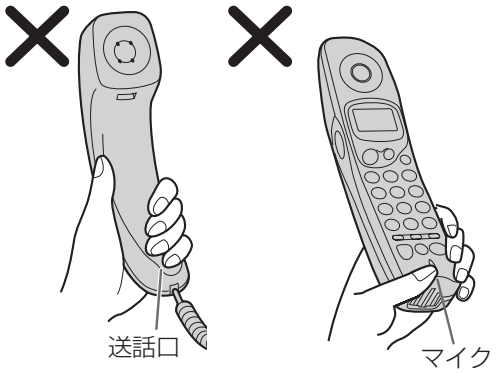
■ 受話口やスピーカーの穴をふさがない

受話口やスピーカーの穴をふさぐと音が聞こえにくくなります。



■ 送話口（マイク）をふさがない

こちらの声が相手の方に聞こえにくくなります。



■ 取り扱いについて

ご近所でコードレス電話機が使われているときは、正しく動作しないことがあります。
こんなときは、一時的に親機をお使いください。

■ 子機や充電器を設置するときは

親機（ファクシミリ本体）や他の増設（付属）子機、PHS／携帯電話の充電器、その他の電気製品などと一緒に置かないでください。（できるだけ離してください。）
子機の呼出音が鳴らなくなることがあります。

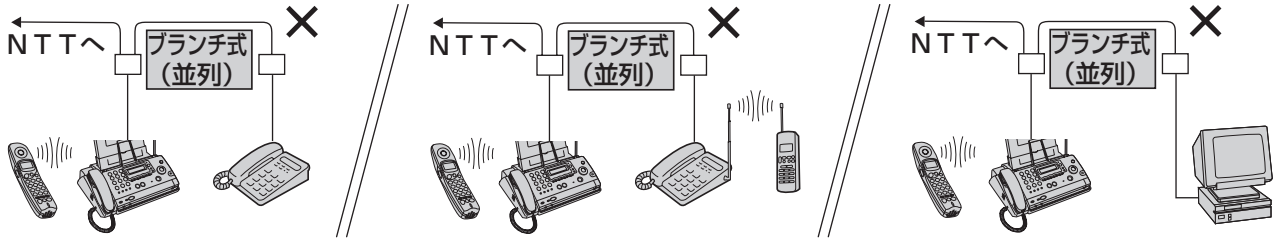
装置について

● この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

接続について

■ ブランチ式（並列）に接続しない

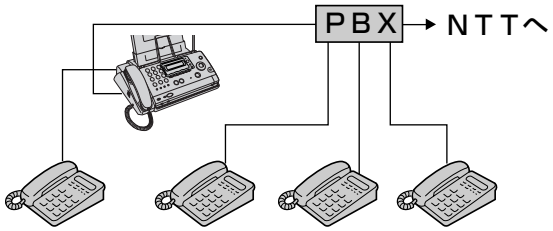
●下図のように、一つの電話回線を 2 つ以上に分けて並列に接続しないでください。共鳴したり、正常に機能が動作しなくなったりすることがあります。また、他のコードレス電話機と並列に接続すると、電波が干渉し合って子機の呼出音が鳴らないことがあります。同様にパソコン等を並列に接続しないでください。パソコンを並列に接続すると、パソコンでメールやインターネットをお使いのとき電送速度が遅くなることがあります。



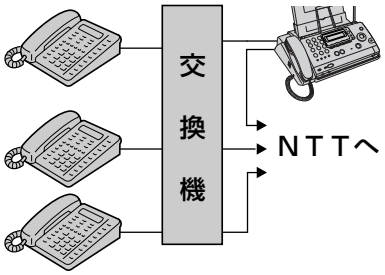
■ 構内交換機（PBX）やビジネスホン、ホームテレホンプロセッサへの接続について

●構内交換機(PBX)やビジネスホン、ホームテレホンプロセッサなどをお使いになる場合は工事が必要です。
●お使いになるホームテレホンや交換機などの機種によって接続方法が異なります。
●構内交換機(PBX)やビジネスホン、ホームテレホンプロセッサへ接続した場合は、モデムダイヤルインサービスやナンバー・ディスプレイサービスはご利用になれません。
●このような接続をしたときは、UX-F2MRをノンコールモード（108〜109ページ）にして使うことはできません。

構内交換機(PBX)の場合



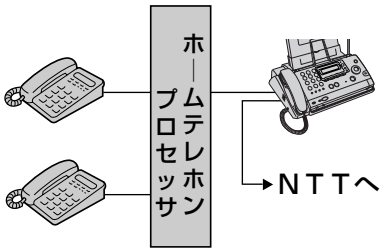
ビジネスホンの場合



ビジネスホンとは

電話回線を 2 本以上持っていて、その回線を多くの電話機で共有できる、内線通話なども可能な簡易交換機です。

ホームテレホンプロセッサの場合

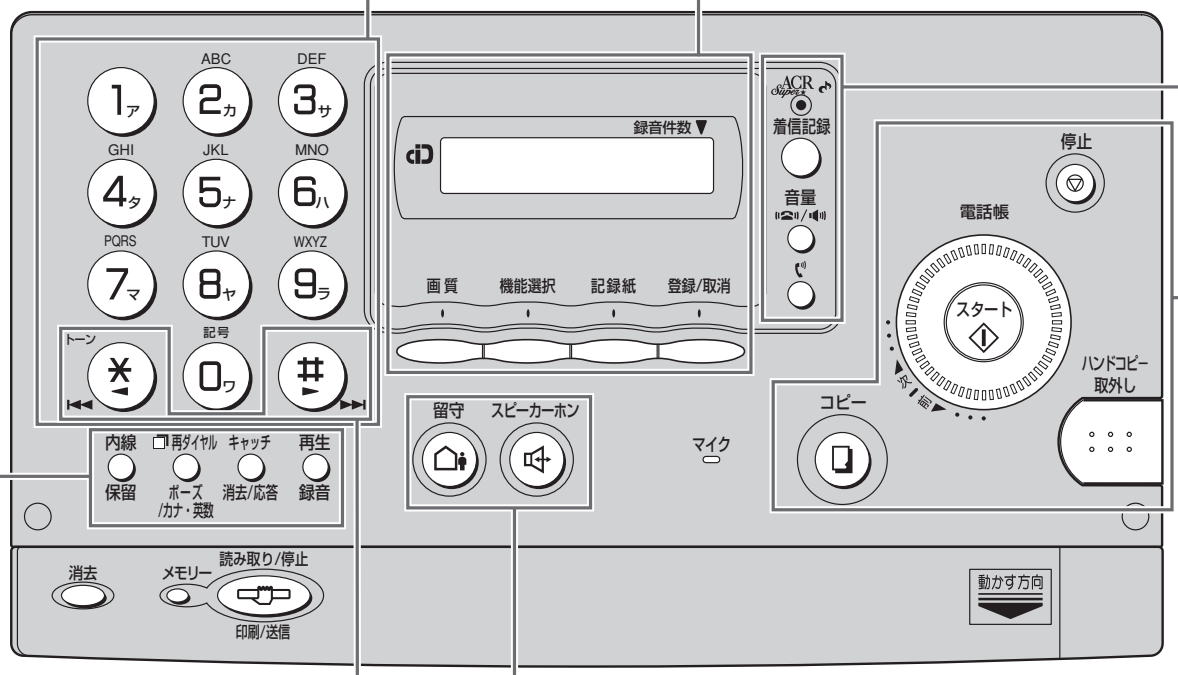


ホームテレホンプロセッサとは

電話回線 1 本で複数の電話機を設置できて、内線通話などもできる家庭用の簡易交換機です。

各部のなまえとはたらき

ダイヤルボタン
電話をかけるときや、文字入力するとき、登録操作をおこなうときに使います。



内線／保留ボタン（37，54，56，58ページ）
子機と内線でお話しするときや、相手の方を保留メロディーでお待たせするときに使います。

再ダイヤル／ポーズ/カナ・英数ボタン（42，52ページ）
同じ相手の方にもう一度ダイヤルするときに使います。
また、電話帳などを登録するときで、待ち時間が必要なときに押したり、文字入力するときは、カナや英字、数字入力モードの切り替えに使います。

キャッチ／消去/応答ボタン（92〜93，141ページ）
応答メッセージを録音したり、録音を消したりするときに使います。
また、キャッチホンサービスを利用するときに使います。

再生／録音ボタン（90，94ページ）
録音内容を再生するときに使います。
押すごとに、標準、早聞き（1.5倍速）、遅聞き（0.5倍速）に切り替わります。
また、通話中に録音したりメモを録音したりするときに使います。

⏮戻し／トーンボタン（90，111ページ）
再生中に録音内容を聞き直したり、1つ前の録音内容を聞いたりするときに使います。
また、ダイヤル回線を利用している場合、プッシュホンサービスを利用するときに使います。

⏭送りボタン（90ページ）
再生中に次の録音内容を聞くときに使います。

液晶ディスプレイ
日付・時刻や操作手順、録音件数などを表示します。また、かかってきた相手の方の番号や名前を表示します。（「ナンバー・ディスプレイ」「キャッチホン・ディスプレイ」サービスをご利用時）

画質ボタン（64ページ）
原稿の文字の大きさや種類によって画質を選ぶときに使います。

機能選択ボタン
機能の項目を選ぶときに使います。

記録紙ボタン（22〜24ページ）
普通紙モードか感熱紙モードかを確認したり、切り替えるときに使います。

登録/取消ボタン
操作の途中で、中止したり、1つ前に決定した文字の修正をしたりするときに使います。また、登録操作をするときに使います。

ACRランプ
ACRデータが送られてくると、赤色から緑色に変わります。

着信記録ボタン（146〜151ページ）
着信記録の番号や電話帳に登録している名前をディスプレイに表示させることができます。

（音量）ボタン（28ページ）
呼出音量、スピーカー音量を変えるときに使います。

（音量）ボタン（28ページ）
受話音量を変えるときに使います。

電話帳／ジョグダイヤル
登録や設定する項目を選ぶときや、電話帳で相手の方を選んで電話をかけるときに使います。

スタートボタン（75，80ページ）
ファクスを送るときや受けるとき、メモリー受信したファクスをプリントするときに使います。また、登録操作をするときにも使います。

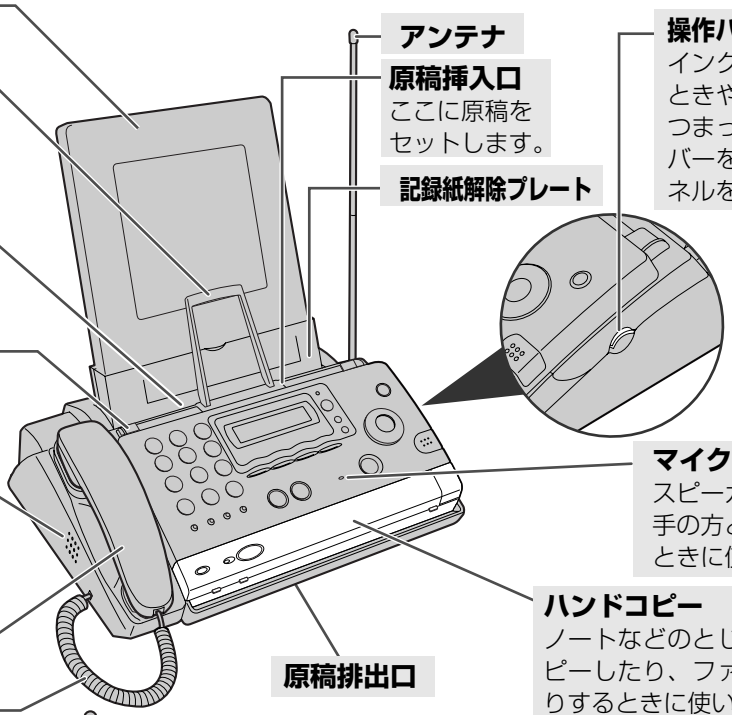
コピーボタン（65ページ）
原稿をコピーするときに使います。

停止ボタン
操作を途中で止めるときや、送信を途中で止めるときなどに使います。

ハンドコピー取外しボタン（67ページ）
ハンドコピーを取り外すときに押します。

留守ボタン（表示ランプ兼用）（88〜89ページ）
外出時、留守番電話にするときに使います。

スピーカーホンボタン（38〜39，76ページ）
受話器を使わずにお話しするときやファクスするときに使います。



記録紙カセットカバー

原稿ホッパー
ファクスを送ったりコピーしたりするときに使います。

記録紙排出口
記録紙がここから出てきます。

原稿ガイド
原稿のサイズに合わせます。

スピーカー
録音の再生やスピーカーホンで通話しているときなど、ここから聞こえます。

受話器

受話器コード

アンテナ

原稿挿入口
ここに原稿をセットします。

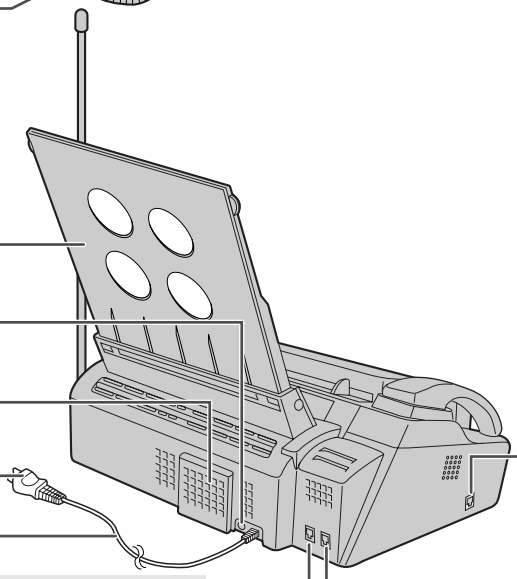
記録紙解除プレート

操作パネル解除レバー
インクリボンを交換するときや、原稿、記録紙がつまったときに、このレバーをもち上げて操作パネルを開けます。

マイク
スピーカーホンで相手の方とお話しするときに使います。

ハンドコピー
ノートなどのとじ込み原稿をコピーしたり、ファクスを送ったりするときに使います。

原稿排出口



記録紙カセット

アース端子

通気孔

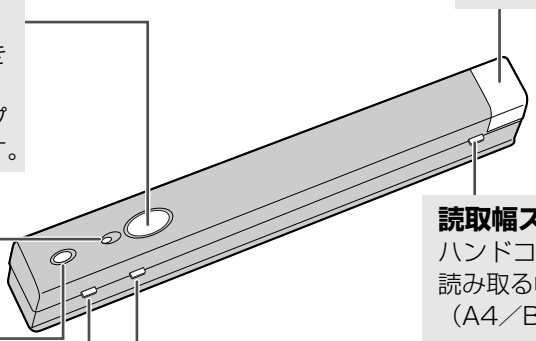
差し込みプラグ

電源コード

増設電話端子
電話機を接続して、増設電話機として使うことができます（129～130ページ）。また、増設した電話機で、停電のときでも電話をかけたり、受けたりすることができます。

受話器接続端子
受話器コードを接続します。

回線接続端子
電話機コードを差し込みます。



ハンドコピー用充電池ふた

読み取り/停止、印刷/送信ボタン
ハンドコピーを使って読み取りを始めるときや、読み取りを止めるときに押します。
また、ハンドコピーで読み取ったデータをプリントしたり送信したりするときに押します。

メモリーランプ

消去ボタン

読取画質スイッチ
ハンドコピーで読み取るときの原稿の画質を選びます。（文字／写真）

読取幅スイッチ
ハンドコピーで読み取るときの読み取る幅を選びます。
（A4／B4）

倍率スイッチ
ハンドコピーで読み取るときの倍率を選びます。（0.8／1.0／1.4倍）

優先呼出を設定しているときに点灯します。

子機を充電しているときに点灯します。

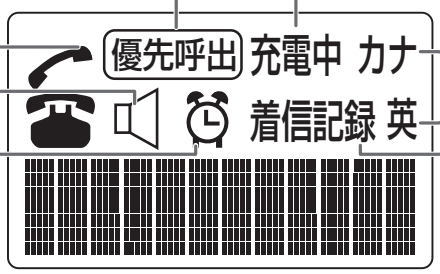
カナ入力モードや、英字入力モードのときに点灯します。

通話ボタンを押すと点灯します。

オンフックボタンを押すと点灯します。

モーニングコールを設定しているときに点灯します。

着信記録を表示しているときに点灯します。



☎ ボタン
通話をやめるとき、また、登録操作を途中でまちがえたときや、やめるときに使います。

通話ボタン（表示ランプ兼用）（34〜35ページ）
外へ電話をかけるときや受けるときに使います。

シャトルキー
電話帳で相手の方を選んで電話をかけるときや、登録操作をするときに使います。また、受話音量を変えるときにも使います。

ダイヤルボタン

⏮ ボタン（91ページ）
再生中に録音内容を聞き直したり、1つ前の録音を聞いたりするときに使います。

⏭ ボタン（91ページ）
再生中に次の録音内容を聞くときに使います。

早聞きボタン（91ページ）
録音内容を早く聞くときに使います。（1.5倍速）

トーンボタン（111ページ）
ダイヤル回線を利用しているときで、プッシュホンサービスを利用するときに使います。

オンフックボタン
子機を置いたまま、ダイヤルするときに使います。

電話帳ボタン（46, 49ページ）
電話帳に登録するときや、電話帳ダイヤルで相手の方を選んで電話をかけるときに使います。

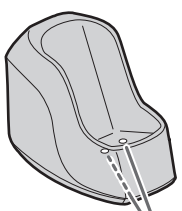
機能／ファクスボタン（77, 83, 86, 124〜125ページ）
登録操作をするときや、ファクスを送ったり、受けたりするときに使います。

キャッチ／カナボタン（47, 141ページ）
キャッチホンサービスを利用するときに使います。また、文字を入力するときは、カナ入力モードや英字入力モードに切り替えるときに使います。

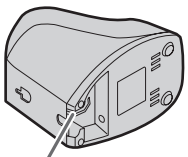
（音量）ボタン（29ページ）
呼出音量やスピーカー音量を変えるときに使います。

保留／内線/クリアボタン（37, 55, 57〜61ページ）
通話中に、相手の方をお待たせするときや、親機と内線通話をするときに使います。

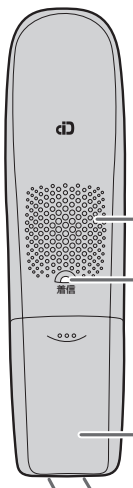
（再ダイヤル）／着信記録ボタン（53, 86, 147〜148, 150ページ）
もう一度、電話をかけ直すときに使います。
また、ナンバー・ディスプレイサービスをご利用時は、着信した相手の方の番号や名前を表示できます。



充電端子



ミゾ
充電器のコードを入れます。



スピーカー

着信ランプ
着信があったときに点滅します。

充電池ふた

充電端子

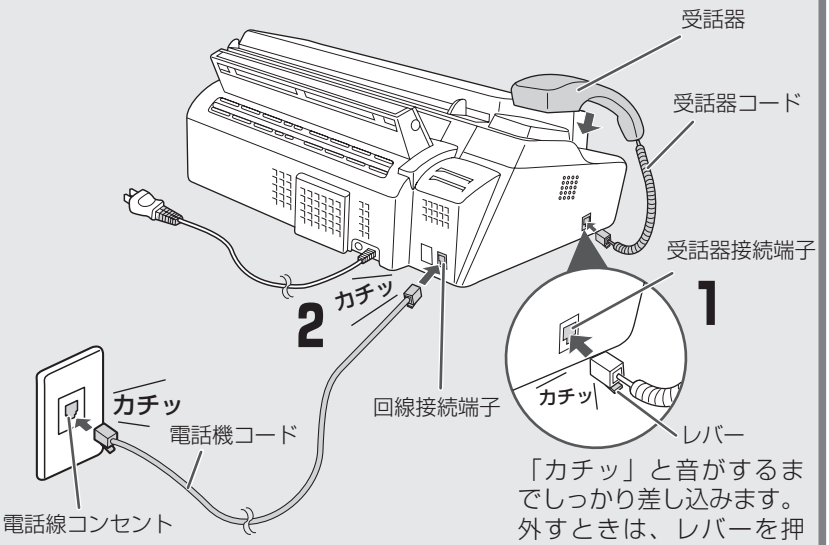
親機を接続する

親機を接続する

必ず手順の番号順に接続してください。

1 付属の受話器コードを、受話器接続端子に差し込み、受話器を受話器台の上に置く

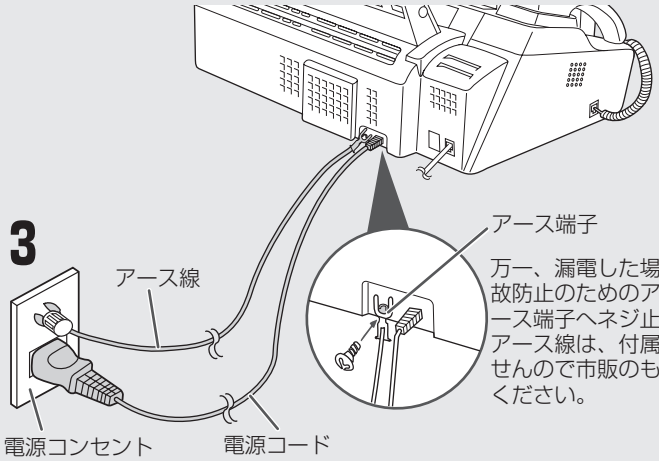
2 付属の電話機コードを、回線接続端子およびご家庭の電話線コンセントに差し込む



「カチッ」と音がするまでしっかり差し込みます。
外すときは、レバーを押しながら抜き取ります。

3 電源コードのプラグを電源コンセント（AC100V）に差し込む

回線種別が自動的に設定されます。
（回線種別自動設定）



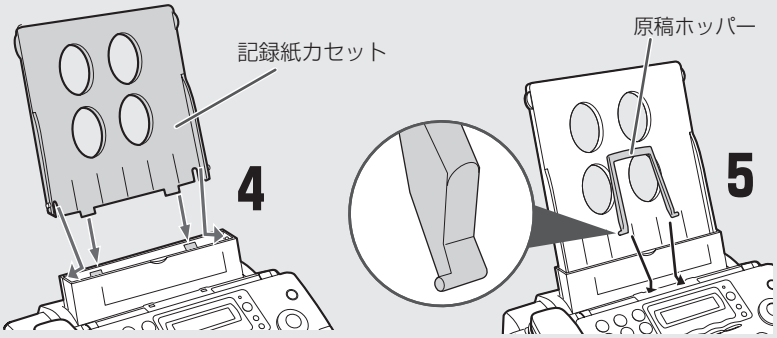
万一、漏電した場合の感電事故防止のためのアース線をアース端子へネジ止めします。
アース線は、付属しておりませんので市販のものをご購入ください。

4 記録紙カセットを取り付ける

向きに注意して、図のように取り付けてください。

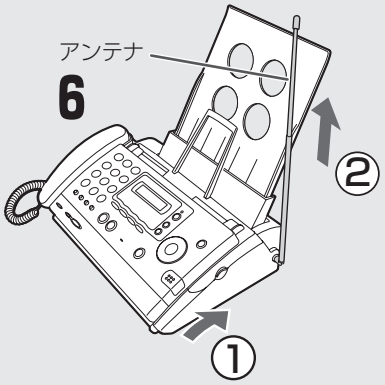
5 原稿ホッパーを取り付ける

図を見て裏表に注意してください。



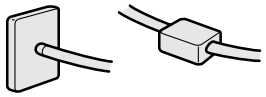
6 アンテナを立てて伸ばす

アンテナを立てて伸ばさないと、電波の届く距離が短くなります。

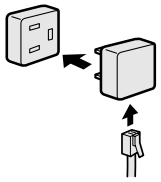


■ コンセントのタイプについて

●直接配線の場合（ローゼット／プレート）
最寄りのＮＴＴ支店・営業所へご相談ください。



● 3ピンプラグ式コンセントの場合
市販のモジュラー付の電話キャップをお買い求めください。



■ 回線種別が合っていないときは

回線種別が合っていないと電話をかけられなかったり、ちがう相手の方にかかったりすることがあります。

こんなときは次の手順で設定してください。

①登録ボタンを押す
②(1ア) (4GHI タ) と押す
③(4GHI タ) を押す

（はじめは自動に設定します。それでも回線種別が正しく設定できないでディスプレイに「カイセン　ハンテイデ゛キマセン」と表示された場合は20／10／トーンのいずれかを選んでください。）

20PPS → (1ア) を押す
トーン（プッシュホン） → (2ABC カ) を押す
10PPS → (3DEF サ) を押す

手順①～②のあと、(1ア) ～ (3DEF サ) を押したときは、このあと停止ボタンを押します。

回線種別とは

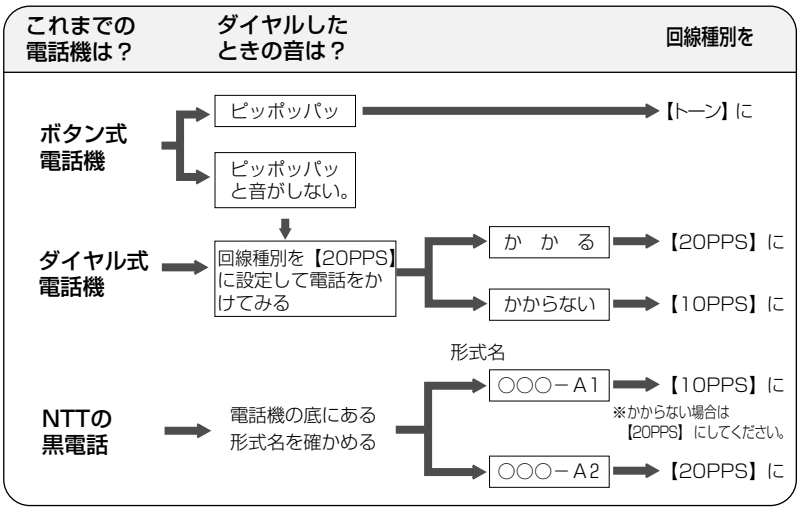
電話回線の種類にはダイヤル回線（20PPS、10PPS）とプッシュホン回線（トーン）とがあります。回線の種類が正しく合っていないと電話をかけることができません。（いずれの回線を利用しているかは、NTTとの契約によります。）

■ NTTのISDN回線をご利用のときは

●ISDN回線をご利用になるには、NTTとの契約が必要です。
●ISDN回線にこのファクシミリを接続する場合は、ターミナルアダプター（TA）が必要です。
ターミナルアダプター（TA）には、DSU内蔵型と分離型TAがありますので、ご購入の販売店でお問い合わせください。
また、接続方法・設定などについては、ターミナルアダプター（TA）に付属している取扱説明書をご覧ください。
●ナンバー・ディスプレイサービスをご利用になるときは、NTTと契約するだけではなく、ターミナルアダプター（TA）もナンバー・ディスプレイ対応でなければなりません。
●ISDN回線に接続するときは、ファクシミリ側の回線種別をトーン（プッシュホン）に合わせてください。

■ 回線の種類がわからないときは

回線の種類は、次の手順で調べることができます。もし、わからないときは、最寄りのＮＴＴの支店、営業所にお問い合わせください。



■ すでに契約されているサービスについて

すでに契約されているサービスを利用するために、設定を行ってください。
●スーパーACR（132～140ページ）
●ナンバー・ディスプレイ／キャッチホン・ディスプレイ（142～161ページ）
●モデムダイヤルイン（162～164ページ）

⚠ 注意

●万一漏電した場合の感電事故防止のため、また、本機の性能を十分に発揮させるためアース線を取り付けてください。

○アース線を取り付けられるところ
・電源コンセントのアース端子
・銅片などを65cm以上、地中に埋めたもの
・設置工事（D種）が行われている接地端子
○アース線を取り付けてはいけないところ
・ガス管
・電話専用アース
・避雷針
・水道管や蛇口

お知らせ

● 構内交換機（ＰＢＸ）、ビジネスホン、ホームテレホンプロセッサなどに接続されている場合は、回線種別が正しく合わないことがあります。
● 電源を入れると、ファクシミリ本体の底面等、部分的にあたたかくなりますが、故障ではありません。
● 電源コードと電話機コードはできるだけ離して設置してください。雑音が入ることがあります。

記録紙をセットする

1度に50枚まで、普通紙または感熱カット紙をセットできます。

■ 記録紙を追加するときは

いったん記録紙を全部ぬきとってから、再度セットしてください。
プリント中は、記録紙の追加をしないでください。

普通紙は、推奨品をお使いください。(167ページ)
（ご注文は、お買いあげの販売店へお申し付けください。）

■ 設定している記録紙のモードを確認するときは

①記録紙ボタンを押す
②ディスプレイで確認する
普通紙モードのとき

1：フツウシ　2：カンネツシ

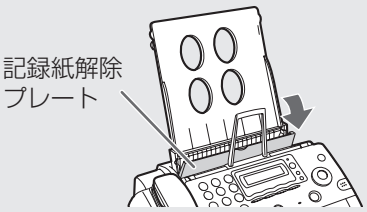
感熱紙モードのとき

1：フツウシ　2：カンネツシ

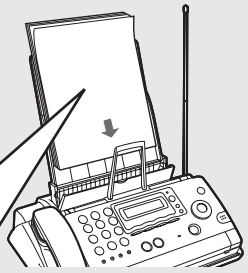
③確認が終わったら停止ボタンを押す

普通紙をセットする

1 記録紙解除プレートを手前にたおす



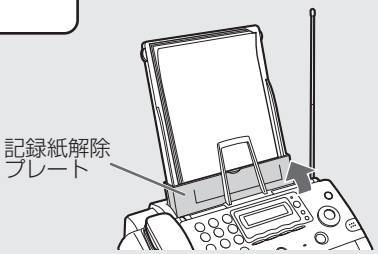
2 プリントする面が裏向きになるように、記録紙カセットに普通紙をセットする（一度に50枚まで）



記録紙をよくさばいてからセットしてください。
さばかずにセットすると記録紙が正常に送られないことがあります。

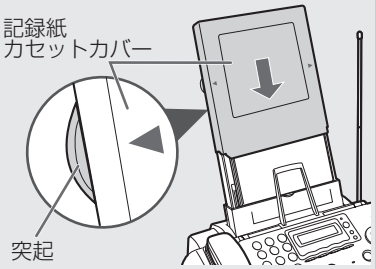
●プリントは裏面になります。

3 記録紙解除プレートをもとの位置に戻す



「記録紙解除プレート」は必ず戻してください。

4 記録紙カセットカバーを取り付ける



●カバーの三角マークとカセットの突起を合わせ、下にスライドさせる。

5 記録紙 を押す

1：フツウシ　2：カンネツシ

6 1ァ を押す

●普通紙モードに設定されます。

フツウシモード ニシマシタ

↓

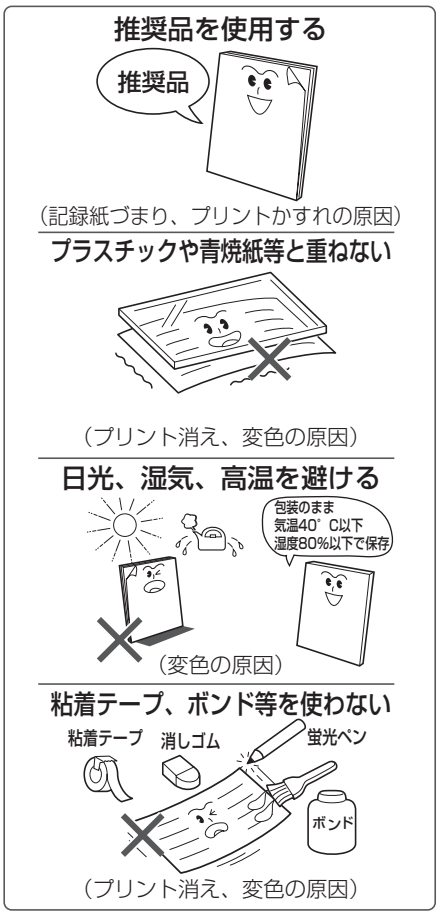
4月23日　3：00PM

お知らせ

● インクリボン1個とカートリッジ2個は、工場出荷時に、あらかじめ親機にセットしています。（あらかじめセットされているインクリボンはテスト用ですので、別売品のインクリボンとはプリントできる枚数が異なります。）

普通紙の代わりに、インクリボンを使わずにプリントできる感熱カット紙（感熱紙）をお使いいただくこともできます。

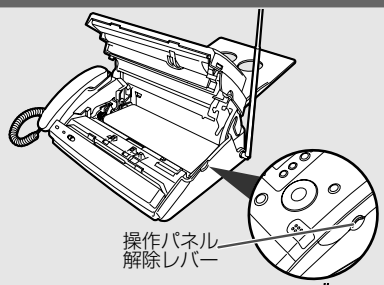
■ 感熱カット紙（感熱紙）について



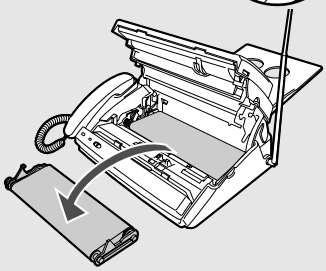
感熱カット紙（感熱紙）は、推奨品（WP-4AS6、WP-4AS7）をお使いください。（167ページ）
（ご注文は、お買いあげの販売店へお申し付けください。）

感熱カット紙（感熱紙）をセットする

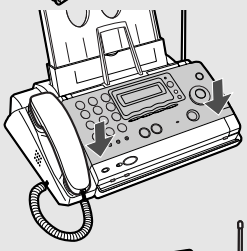
1 操作パネル解除レバーを上げて操作パネルを開ける



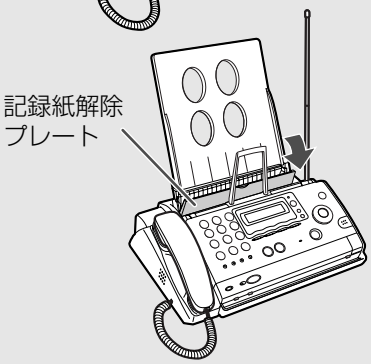
2 インクリボンとカートリッジを取り出す



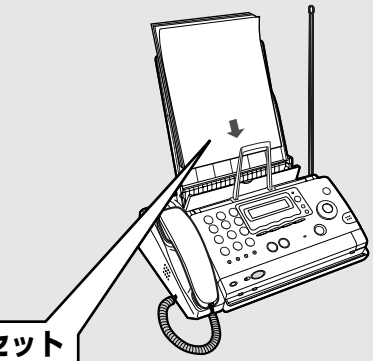
3 操作パネルを閉める



4 記録紙解除プレートを手前にたおす



5 プリントする面が裏向きになるように、記録紙カセットに感熱カット紙をセットする（一度に50枚まで）



●紙の表裏をまちがえるとプリントできませんのでご注意ください。

感熱カット紙をよくさばいてからセットしてください。
さばかずにセットすると感熱カット紙が正常に送られないことがあります。

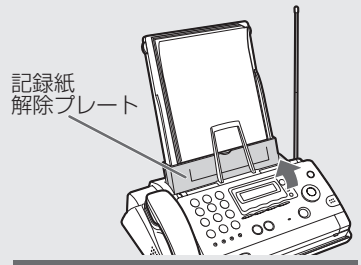
次ページ→

お知らせ

- しわや折り目のあるもの、また破れている記録紙はセットしないでください。記録紙づまりの原因になります。
- プリント中に記録紙カセットを引き抜かないでください。
- 記録紙は、日光のあたる場所、湿気や高温な場所をさけて保管してください。
- 当社推奨品の記録紙以外をご使用になると、記録紙づまりや、プリントかすれ、故障などの原因になることがあります。
- 長期間、記録紙カセットに記録紙をセットしたままにしないでください。記録紙が湿気などを含み、劣化する原因になります。劣化した記録紙をそのままお使いになると、記録紙の給紙不良や記録紙づまりなどの原因になることがあります。

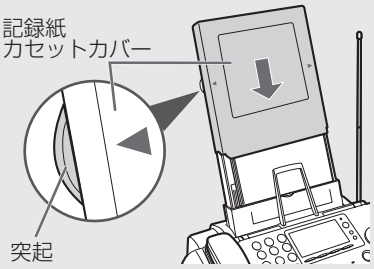
→つづき

6 記録紙解除プレートをもとの位置に戻す



「記録紙解除プレート」は必ず戻してください。

7 記録紙カセットカバーを取り付ける



●カバーの三角マークとカセットの突起を合わせ、下にスライドさせます。

8 記録紙 を押す

1：フツウシ　2：カンネツシ

9 ABC 2カ を押す

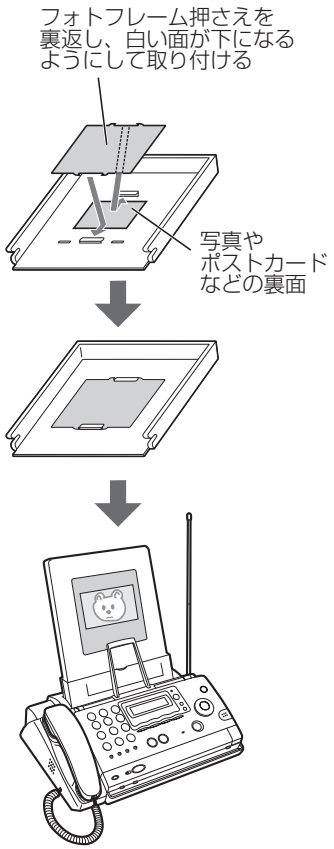
●感熱紙モードに設定されます。

カンネツシモード ニシマシタ

4月23日　3：00PM

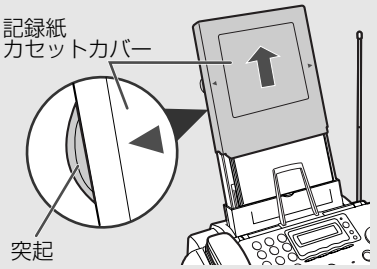
こんなことができます

記録紙カセットカバーにお好きな写真やポストカードなどを入れることができます。定形ポストカードが縦または横に入る大きさです。（フォトフレーム付）



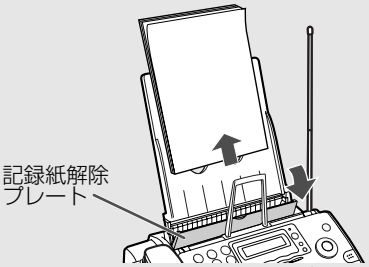
記録紙を取り出す

1 記録紙カセットカバーを取り外す

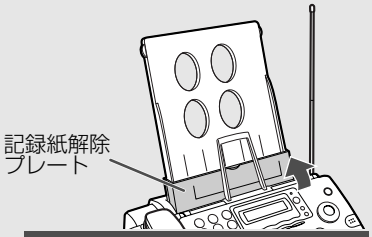


●カバーの三角マークとカセットの突起が合うまで、上にスライドさせます。

2 記録紙解除プレートを手前にたおして、記録紙を取り出す



3 記録紙解除プレートをもとの位置に戻す



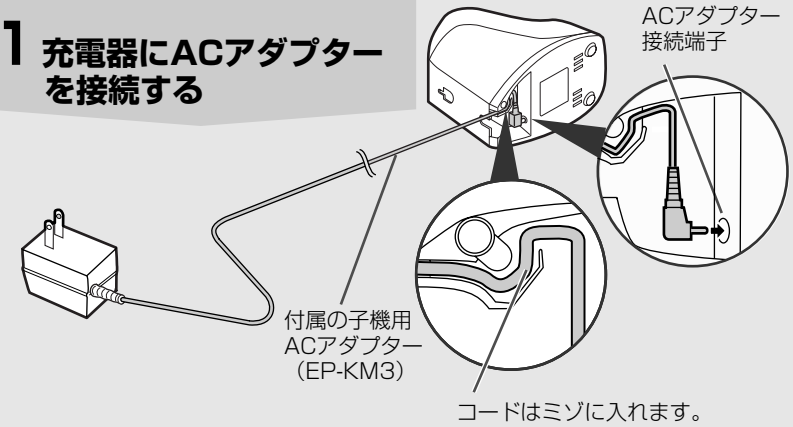
「記録紙解除プレート」は必ず戻してください。

充電器を接続する

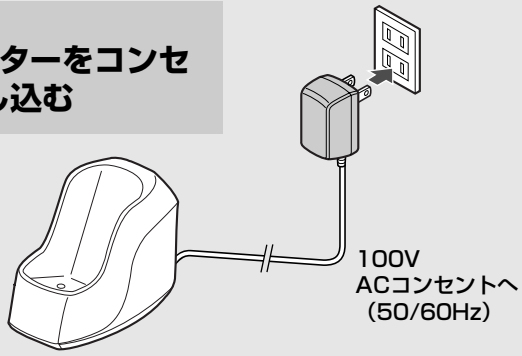
充電器をＡＣアダプターと接続して100V電源コンセントに差し込みます。また、子機を壁に掛けて使うこともできます。

充電器を接続する

1 充電器にACアダプターを接続する



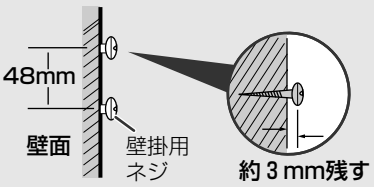
2 ACアダプターをコンセントに差し込む



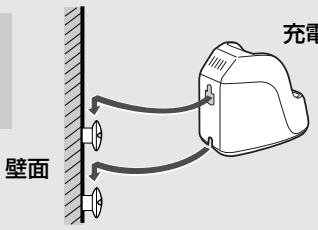
子機を壁に掛けて使う

付属の壁掛け用ネジを使います。

1 付属の壁掛け用ネジをしっかりとした壁や柱に取り付ける



2 充電器を取り付ける

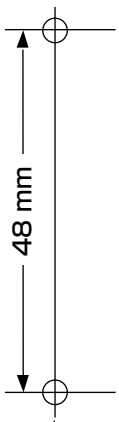


⚠ 注意

●子機を壁に掛けて使用するときは、充電器を確実に取り付けてください。落下により、けがの原因になることがあります。

お知らせ

- 充電端子はピンなどの異物でショート（短絡）させないでください。
- 子機の充電器は、充電端子が汚れていたり、異物がついていたりすることがあります。いつもきれいにしておいてください。（165ページ）
- 充電中は子機や充電器があたたかくなりますが、異常ではありません。
- 子機や充電器を設置するときは、親機（ファクシミリ本体）やPHS／携帯電話の充電器、その他の電気製品などと一緒に置かないでください。（できるだけ離してください。）子機の呼出音が鳴らなくなることがあります。

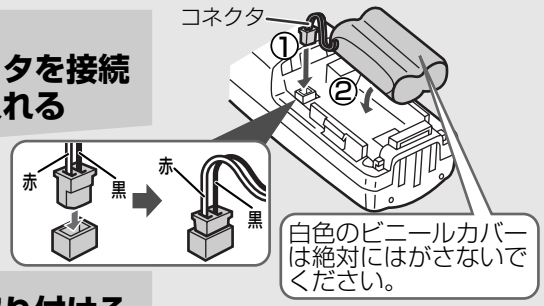


子機を充電する

はじめてお使いになるときは、
必ず10時間以上充電
してください。（充電池の容量が少なくなっていることがあります。）
いっぱいに充電すると、約7時間、連続して通話できます。

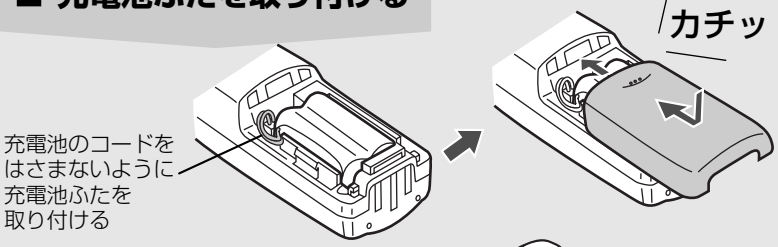
子機を充電する

1 充電池のコネクタを接続して充電池を入れる

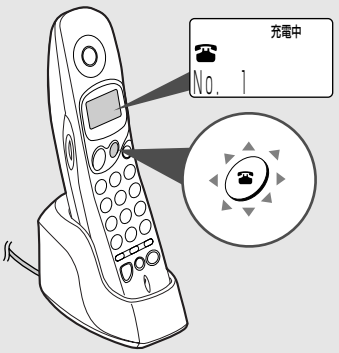


●コネクタはしっかり差し込んでください。

2 充電池ふたを取り付ける



3 子機を充電器に置く



はじめてお使いになるときは、
ランプが点灯してから
10時間以上充電してください。

子機を充電器に置くだけで、自動的に電源が入り（ランプ点灯）、充電が始まります。

●子機を使わないときは、いつも充電器に戻してください。
●ボタン面を手前に向けて置いてください。
逆向きに置くと充電されません。
●はじめて子機を充電するときは、ランプが点灯しても、液晶ディスプレイに“充電中”が表示されるまで時間がかかることがあります。
●充電中は充電器や子機があたたかくなりますが、異常ではありません。
●いっぱいに充電しても“充電中”の表示は消えません。

■ 通話時間について

いっぱいに充電した状態（10時間以上）で通話できる時間は
通話状態で**約 7 時間**です。

通話中や登録操作中に、充電容量がなくなると、“ピッピッ…”と警報音が鳴り、約1分後に通話が切れます。
（子機の液晶画面に“デンチアリマセン”が表示されます。）
このときは、いったん電話を切って充電するか、親機に転送してお話しください。

お知らせ

● 旅行や長期不在により子機を使用されないときは、充電池のコネクターを外しておくことをおすすめします。

⚠ 危険

●充電池の取り扱いについては、必ず次のことを守ってください。正しく使用しないと、充電池の液漏れ・発熱・破裂により、やけどやけがの原因となります。
- ・充電池をネックレス・ヘアピンなどと一緒に持ち運んだり、保管しないでください。
- ・充電池を水や火の中に捨てたり、加熱しないでください。
- ・充電池ふたを取り付けるときは、充電池のコードをはさまないようにしてください。
- ・充電池の⊕⊖端子を金属などで接触させないでください。
- ・充電池は、専用のものを使用してください。
- ・充電池の液が目に入ったときは、こすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、直ちに医師の治療を受けてください。失明のおそれがあります。

⚠ 警告

●充電池のビニールカバーを、はがしたりしないでください。充電池の液が漏れたり、発熱、破裂の原因になります。

⚠ 注意

●充電池は、幼児の手の届かない所に保管してください。

コードレスハンドコピーを充電する

はじめてお使いになるときは、
必ず 6 時間以上充電
してください。（充電池の容量が少なくなっていることがあります。）
いっぱいに充電すると、約1.5時間連続して使用できます。

■ 使用時間について

いっぱいに充電した状態（6 時間以上）で連続して使用できる時間は
約1.5時間です。

また、動作待機時間は約 3 時間です。（周囲温度約25℃でお使いになった場合のめやすの時間です。使用条件によって使用時間は異なります。）
充電容量がなくなると、“ピッピッ…”と警告音が鳴り、5分後に電源が切れて、読み取ったデータが消えてしまいます。ハンドコピーを本体に取り付けてください。

⚠ 危険

- 充電池の取り扱いについては、必ず次のことを守ってください。正しく使用しないと、充電池の液漏れ・発熱・破裂により、やけどやけがの原因となります。
  - ・充電池をネックレス・ヘアピンなどと一緒に持ち運んだり、保管しないでください。
  - ・充電池を水や火の中に捨てたり、加熱しないでください。
  - ・充電池ふたを取り付けるときは、充電池のコードをはさまないようにしてください。
  - ・充電池の⊕⊖端子を金属などで接触させないでください。
  - ・充電池は、専用のものを使用してください。
  - ・充電池の液が目に入ったときは、こすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、直ちに医師の治療を受けてください。失明のおそれがあります。

⚠ 警告

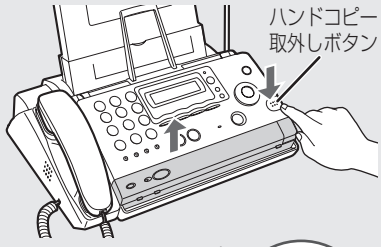
- 充電池のビニールカバーを、はがしたりしないでください。充電池の液が漏れたり、発熱、破裂の原因になります。

⚠ 注意

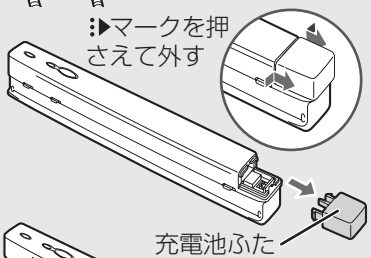
- 充電池は、幼児の手の届かない所に保管してください。

コードレスハンドコピーを充電する

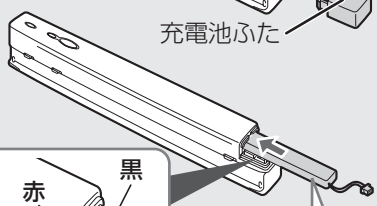
1 ハンドコピー取外しボタンを押してハンドコピーを取り外す



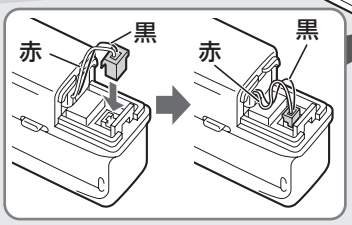
2 ハンドコピーの充電池ふたを取り外す



3 充電池を入れてコネクタを接続する

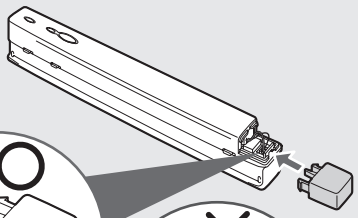


●コネクタは「カチッ」と音がするまで確実に差し込んでください。

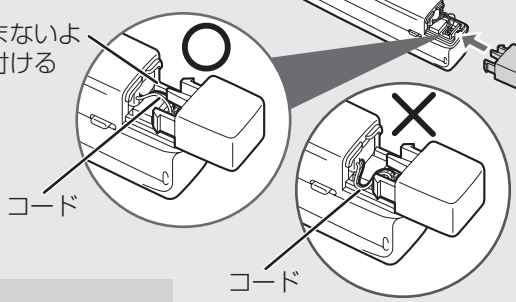


ビニールカバーは絶対にはがさないでください。

4 充電池ふたを取り付ける

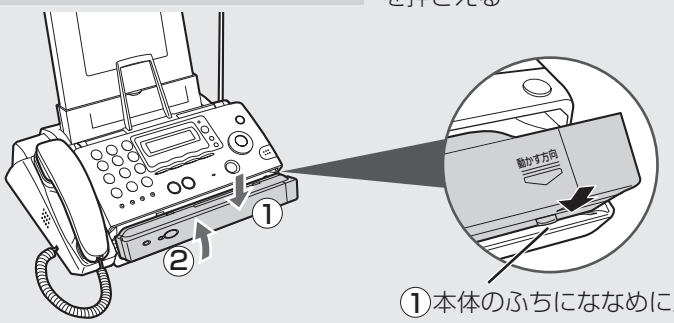


充電池のコードをはさまないように充電池ふたを取り付ける



5 ハンドコピーを本体に取り付ける

ハンドコピーの手前を本体のふちに、ななめに立てて置いて、後ろを押さえる



①本体のふちにななめに立てる

はじめてお使いになるときは **6時間以上充電** してください。

本体に取り付けるだけで充電が始まります。

- ハンドコピーを使わないときは、いつも本体に戻してください。
- 充電中はハンドコピーがあたたかくなる場合がありますが、異常ではありません。

呼出音の大きさや受話音量、スピーカー音量を変える

相手の声が聞きとりにくいときは、受話器やスピーカーから聞こえる音の大きさを変えることができます。

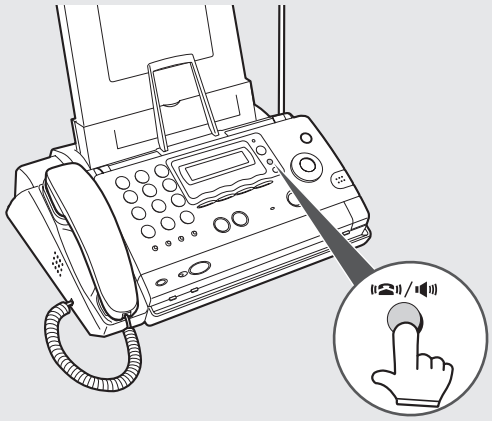
親機の呼出音量を変える

電話がかかってきたときの呼出音の大きさを変えることができます。

受話器を置いた状態で

（音量）を押す

※ボタンを押すたびに5段階に設定できます。
（音を聞きながら設定してください）



親機の受話音量を変える

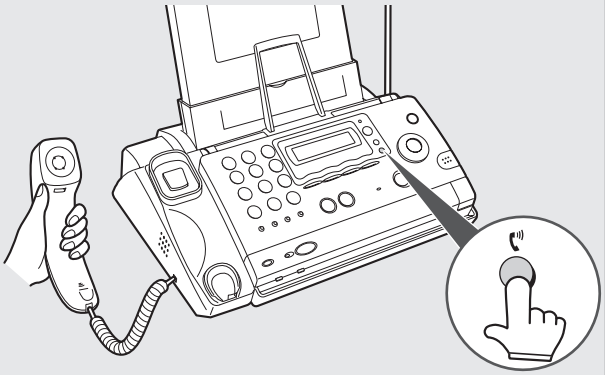
通話中に受話器から聞こえる相手の声の大きさを変えることができます。

受話器を取って

（音量）を押す

オンリョウ=小　大

※ボタンを押すたびに5段階に設定できます。



親機のスピーカー音量を変える

スピーカーホンで話しているときや、録音再生時にスピーカーから聞こえる音の大きさ、また、通信時の音声ガイダンス（「ファクスを送信します。」など）の大きさを変えることができます。

スピーカーホン

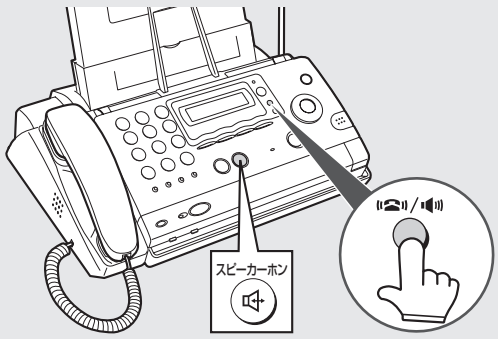
を押し、

スピーカーから「ツー」音が聞こえているときに

（音量）を押す

オンリョウ=小　大

※ボタンを押すたびに5段階に設定できます。



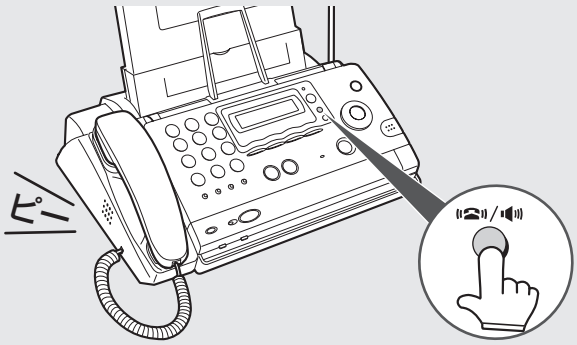
親機の呼出音を鳴らさないようにするときは

呼出音を鳴らさないようにすることができます。このとき電話の着信は、液晶ディスプレイの点灯でわかります。

受話器を置いた状態で

（音量）を3秒以上（「ピー」音が鳴るまで）押し続ける

オンリョウ=キリ



再び、呼出音を鳴らすときは、（音量）ボタンを押します。

- 「切」にしているときでも、内線からの呼出音は鳴ります。

こんなことができます

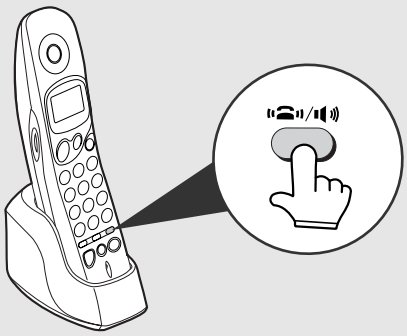
- 相手の方に聞こえるこちらの声の大きさを「標準」または「大」に変えることができます。（親機送話音量切替）（120～121ページ）

子機の呼出音の大きさを変える

電話がかかってきたときの呼出音の大きさを変えることができます。

通話ボタンを消灯させた状態で

（音量）を押す



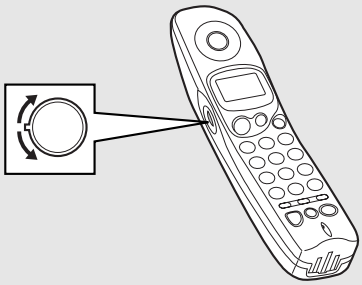
はじめは「大」になっています。
大⟷小の2段階に設定できます。（音を聞きながら設定してください。）

子機の受話音量を変える

通話中に受話口から聞こえる相手の声の大きさを変えることができます。

通話中に

大
標準
シャトルキーを上下に動かす



はじめは「標準」になっています。
標準⟷大の2段階に設定できます。（音を聞きながら設定してください。）

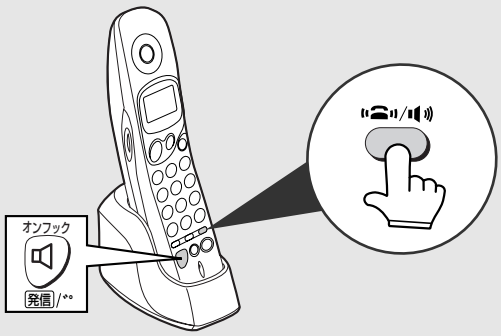
子機のスピーカー音量を変える

録音再生時などスピーカーから聞こえる大きさを変えることができます。

オンフック
を押し、

スピーカーから「ツー」音が聞こえているときに

（音量）を押す



はじめは「標準」になっています。
標準⟷大の2段階に設定できます。（音を聞きながら設定してください。）

こんなことができます

- 相手の方に聞こえるこちらの声の大きさを「標準」または「大」に変えることができます。
  （子機送話音量切替）（120～121ページ）
- 子機のボタンを押したときや、シャトルキーを操作したときの「ピッ」音を鳴らさないようにすることができます。（キータッチトーン）
  （124～125ページ）

■ 子機の受話音量を全体的にさらに大きくしたいときは

全体的な音量を「標準」から「大」に変えることができます。（120～121ページ）
「大」にするとシャトルキーで選んだ受話音量が全体的に大きくなります。

呼出音の種類を変える

電話がかかってきたときの呼出音の種類を変えることができます。
親機の呼出音は、あらかじめ3種類内蔵されています。
日本テレコム（株）提供の「呼出音メロディーサービス」を利用すると、別に3種類まで取り込むことができます。（139ページ）
さらに、自分で呼出音を1種類作ることができます（96～98ページ）ので合わせて最大7種類の中から1つ選ぶことができます。

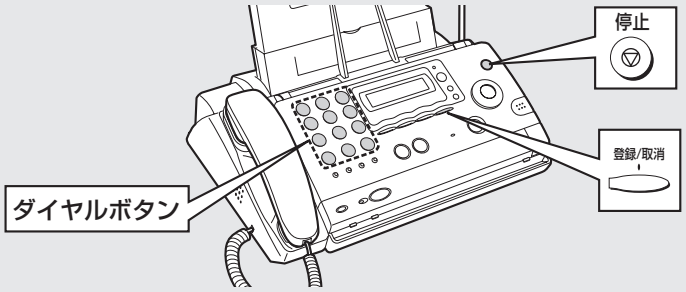
■ 途中でやめるときは
停止ボタンを押します。

■ 1つ前に戻るときは
取消ボタンを押します。

■ 着信時、設定した呼出音とちがう呼出音が鳴るときは
ナンバー・ディスプレイを契約し、鳴り分け機能が働いている可能性があります。（初期設定では、親機は鳴り分けが「ショウスル」に設定され、子機は「解除」に設定されています。）
鳴り分けをする必要がなければ親機の設定を「シヨウシナイ」に変更します。（153～155ページ）

親機の呼出音の種類を変える

受話器を置いたまま操作します。



1 登録/取消 **を押す**

2 GHI 4タ 1ア 記号 0ワ **を押す**

オヤキヨヒ゛ ダ゛ シオン

3 1ア ～ PQRS 7マ **で選ぶ**

- **電話ベル音** ▶ 1ア
- **鳥の声** ▶ ABC 2カ
- **電子音** ▶ DEF 3サ
- **メロディー1** ▶ GHI 4タ **を押す**
- **メロディー2** ▶ JKL 5ナ
- **メロディー3** ▶ MNO 6ハ
- **オリジナル（自作）メロディー** ▶ PQRS 7マ

●はじめは（工場出荷時は）電話ベル音に設定されています。
●スーパーACRに加入し、呼出音メロディーサービスのメロディーを取り込むと GHI 4タ ～ MNO 6ハ ボタンを押して選ぶことができます。
●オリジナル（自作）メロディーは「オリジナル（自作）メロディーを作る」（96～98ページ）で作ると PQRS 7マ ボタンを押して選ぶことができます。

4 停止 **を押す**

こんなことができます

この取扱説明書では手順2のように、番号を入力して登録や設定する項目を選んでいますが、ジョグダイヤルで項目を選んでスタートボタンを押して決定することもできます。
ジョグダイヤルで選ぶ→スタートボタンを押すをくり返します。
この操作で登録や設定する項目を選ぶときは、ディスプレイ表示にしたがって操作してください。

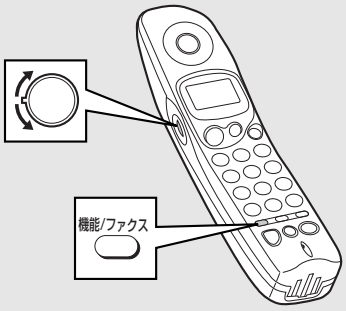
お知らせ

- 内線から呼出があったときは、呼出音の種類は変わりません。
- 親機の呼出音を電話ベル音以外に設定していても、プリント中などで、親機が動作しているときや、ノンコール着信に設定しているときは、「電話ベル音」になります。
- 呼出音メロディーサービスで取り込んだメロディーやオリジナル（自作）メロディーを子機の呼出音で使うことはできません。

子機の呼出音はあらかじめ内蔵されている９種類の中から１つ選ぶことができます。

子機の呼出音の種類を変える

通話ボタンを消灯させた状態で操作します。



1 機能/ファクス **を押す**

☎ ﾖｳｹﾝｻｲｾｲ

2 **シャトルキーで「チャクシンネイロ」を選ぶ**

☎ ﾁｬｸｼﾝﾈｲﾛ

3 機能/ファクス **を押す**

☎ ▲▼:ﾈｲﾛｾﾝﾀｸ

4 **シャトルキーで呼出音の種類を選ぶ**

☎ ▲▼:ﾈｲﾛｾﾝﾀｸ

●選ぶたびに、呼出音（確認音）が鳴ります。

「プルルルプルルル」
「ポロロロポロロロ」
「ピロンピロン」
「ショートメロディ①」
「ショートメロディ②」
「ロンドン橋」
「森の音楽隊」
「トルコマーチ」
「愛のあいさつ」

5 機能/ファクス **を押す**

■ 途中でやめるときは

☎ ボタンを押します。

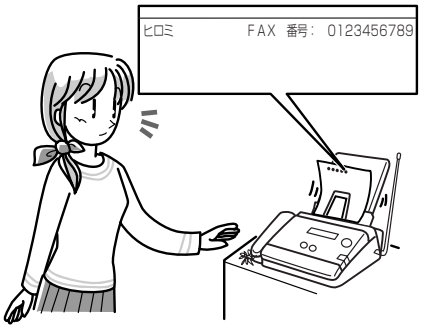
お知らせ

- 内線から呼出があったときは、呼出音の種類は変わりません。
- 呼出音メロディーサービスで取り込んだメロディーやオリジナル（自作）メロディーを子機の呼出音で使うことはできません。

あなたの電話番号や名前を登録する

ファクスを送るとき、あなたの電話番号や名前を相手の方に伝えるために登録します。登録した番号や名前は、ファクスを送ったとき、相手の方の記録紙にプリントされます。

ファクスを受けた相手の方には……



■ 番号を入れまちがえたときは
取消ボタンを押すたびに、後ろから１文字ずつ消えますので、そのあと、入れ直します。

NO. =0123456789

取消ボタンを押すと

NO. =012345678

■ 登録した電話番号を消すときは
①登録ボタンを押す
②1 2 2 と押す
③スタートボタンを押す
④停止ボタンを押す

■ 登録した電話番号を変えるときは
一度消してから、もう一度登録します。

■ 登録した名前を消すときは
①登録ボタンを押す
②1 3 2 と押す
③スタートボタンを押す
④停止ボタンを押す

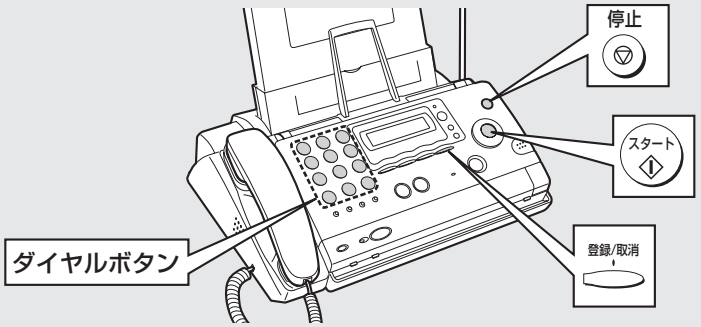
■ 登録した名前を変えるときは
一度消してから、もう一度登録します。

■ 途中でやめるときは
停止ボタンを押します。

■ １つ前に戻るときは
取消ボタンを押します。

あなたの電話番号を登録する

受話器を置いたまま操作します。



1 登録/取消 **を押す**

2 1 2 2 **と押す**

NO. =
FAX NO. セット クダ サイ

3 電話番号を入れる（最大20ケタ）

NO. =1234567890

●スペース（空白）を入れるときは
#を押します。
プラス（＋）を入れるときは
*を押します。

4 スタート **を押す**

トウロク シマシタ

5 停止 **を押す**

あなたの名前を登録する

受話器を置いたまま操作します。

1 登録/取消 **を押す**

2 1 3 2 **と押す**

カ ナ
ダ イヤルボ タンデ センタク

3 名前を入れる（最大24文字）（42ページ）

4 スタート **を押す**

トウロク シマシタ

5 停止 **を押す**

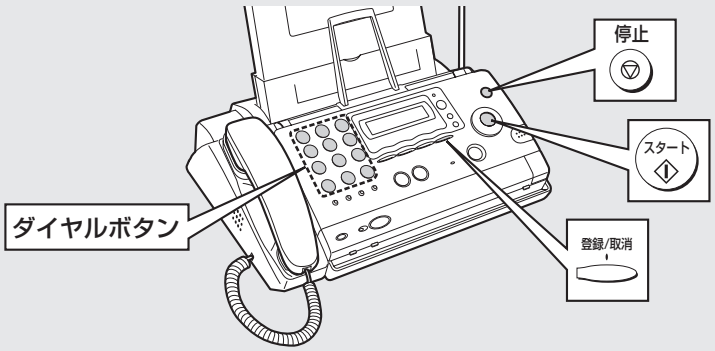
日付と時刻を合わせる

電源を入れると、ディスプレイに日付と時刻を表示します。また、ファクスを送ったとき、相手側の記録紙に日付と時刻をプリントしたり、留守番電話で用件が録音された日付や時刻を確認したりすることもできます。

（親機の日付・時刻は、工場出荷時にあらかじめ設定されています。）

親機の日付と時刻を合わせる

受話器を置いたまま操作します。



1 登録/取消 **を押す**

2 1ァ 1ァ **と押す**

3 ダイヤルボタンで日付を入れる

ヒヅ ケ 01−04−23
└ 点滅

例：0 1 0 4 2 3
2001年 4月 23日

●時刻だけを修正するときは、スタートボタンを押して手順4から操作してください。

4 ダイヤルボタンで時刻を入れる

ジ コク 15：00
└ 点滅

時刻は24時間制で入れます。
例： 1 5 0 0
午後3時 00分

5 スタート **を押す**

トウロク シマシタ

6 停止 **を押す**

4月23日 3：00PM

●0秒から時計がスタートします。

■ 数字を入れまちがえたときは

取消ボタンを押すたびに、後ろから1文字ずつ消えますので、そのあと、入れ直します。

■ 年と曜日の表示について

日付が入れば、曜日は自動的に設定されます。
年と曜日はディスプレイには表示されませんが、送信したファクスにはプリントされます。

■ 西暦年を入れるときは

年は西暦年の下2桁を入れます。

【年入力】
2000年 ⇒ 00
〜
2092年 ⇒ 92

■ 途中でやめるときは

停止ボタンを押します。

■ 1つ前に戻るときは

取消ボタンを押します。

お知らせ

● 時刻表示は、目安としてご利用ください。なお、誤差が生じた場合は設定をやり直してください。
（時計精度：平均月差±60秒以内）